

2021.4 – 2021.9
コースフロー／コースカリキュラム

日立製品

日立製作所のオープンミドルウェア、
プラットフォームソフトウェアなどを
扱うために必要な技術が修得できます。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/>
日立アカデミーWebサイト

※本ガイドは2020年12月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。

※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。

※オンライン研修または集合研修の開催時間については、当社Webサイトでご確認ください。

JP1

統合システム運用管理ソフトウェア JP1を扱うために必要となる機能や操作、設定方法等の技術が修得できます。

● JP1製品の導入を検討する方



● JP1統合管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



音声有・説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）

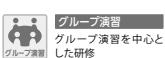
音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）

音声なし・説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。



マシン実習
マシンを使用しながらの研修



グループ演習
グループ演習を中心とした研修



レクチャ
座学による研修



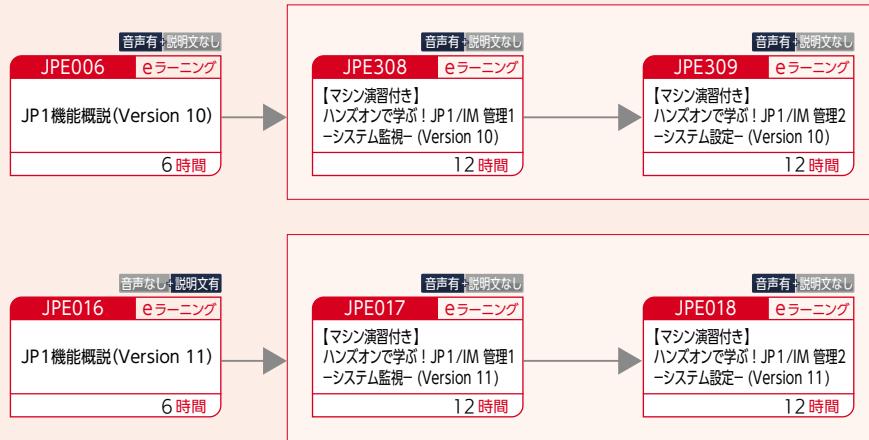
eラーニング
インターネット接続による自己学習



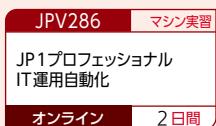
その他



休講
今期の定期開催はありません



● JP1 IT運用自動化製品を使用したシステムを構築・運用する方



※ 集合研修での開催をご希望の場合はお問い合わせください。

音声有・説明文有 : 説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）

音声なし・説明文有 : 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。



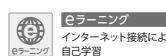
マシン実習
マシンを使用しながらの
研修



グループ演習
グループ演習を中心とした研修



レクチャ
座学による研修



eラーニング
インターネット接続による
自己学習



その他



休講
今期の定期開催はありません

● JP1ジョブ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方

JP1認定プロフェッショナル（ジョブ管理）資格対応



※ 集合研修での開催をご希望の場合はお問い合わせください。

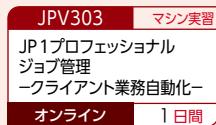
音声有+説明文有 : 説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）

音声有+説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）

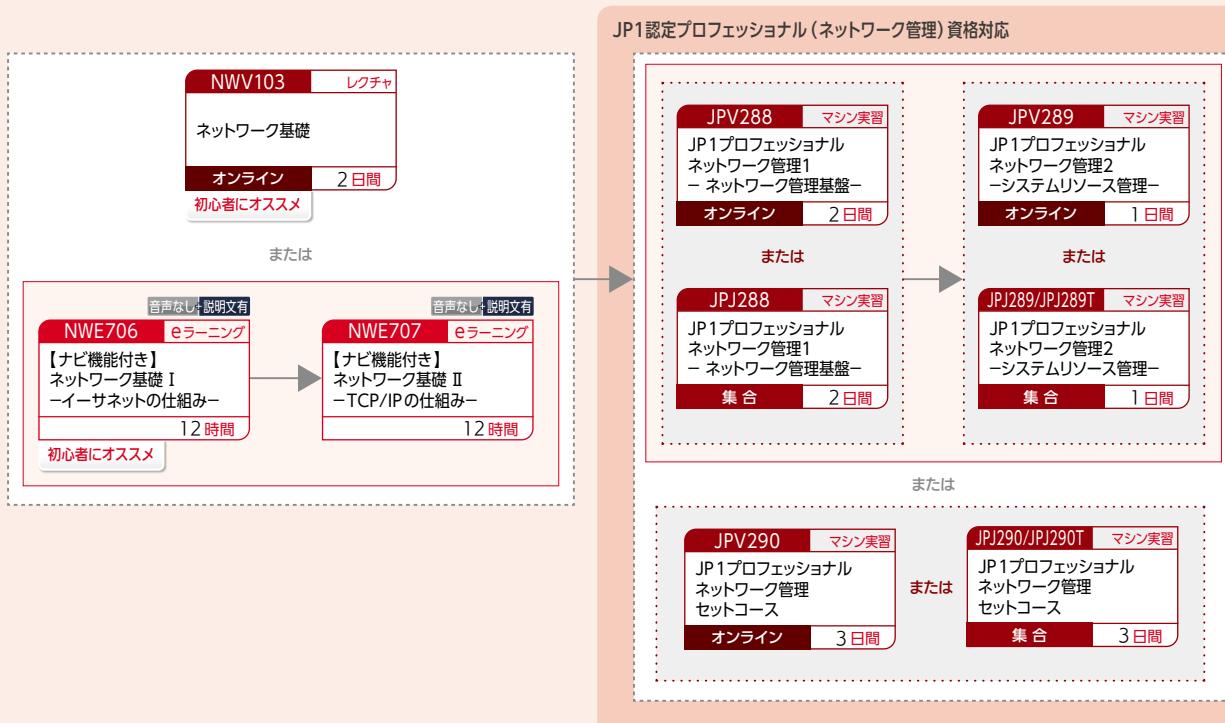
音声なし+説明文有 : 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● JP1 クライアント業務自動化製品を使用したシステムを構築・運用する方



● JP1 ネットワーク管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



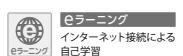
※ 集合研修での開催をご希望の場合はお問い合わせください。

音声有・説明文有 : 説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）

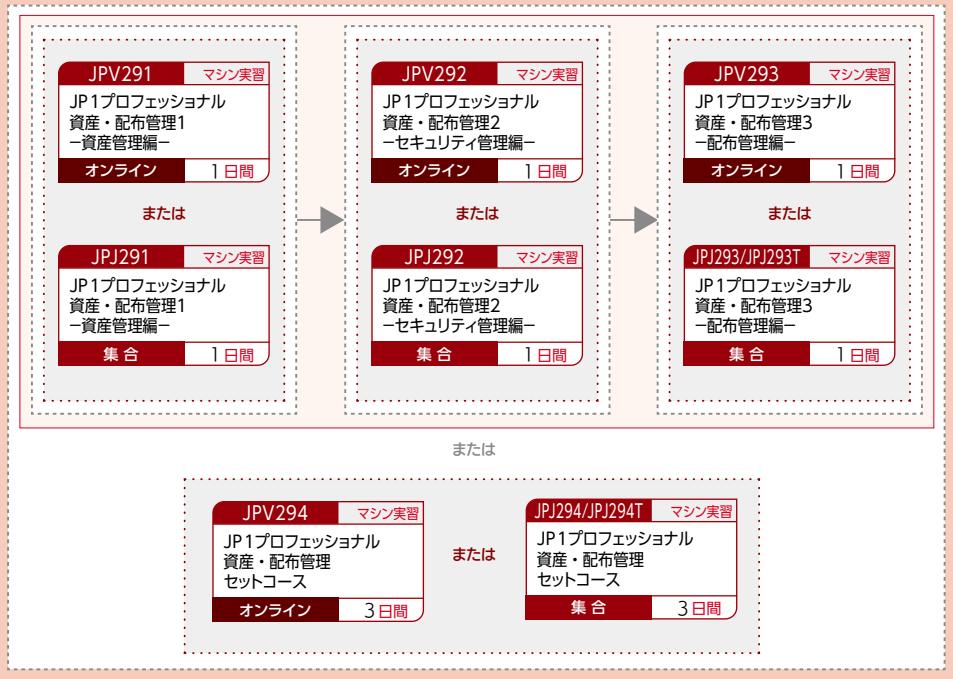
音声なし・説明文有 : 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。



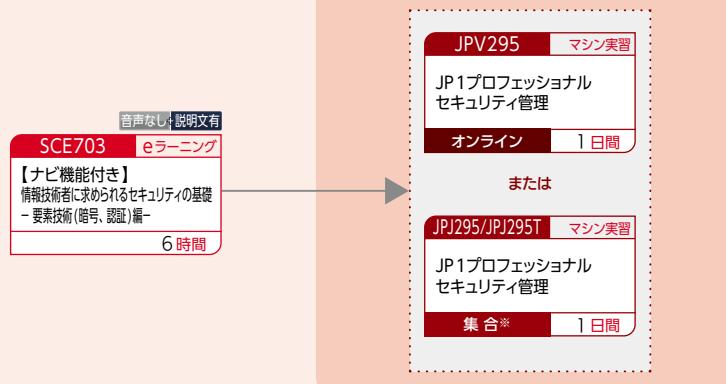
● JP1資産・配布管理製品を使用したシステムを構築・運用する方

JP1認定プロフェッショナル（資産・配布管理）資格対応



● JP1セキュリティ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方

JP1認定プロフェッショナル（セキュリティ管理）資格対応



※ 集合研修での開催をご希望の場合はお問い合わせください。

音声有・説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能ですが）

音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）

音声なし・説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。



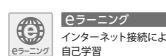
マシン実習
マシンを使用しながらの
研修



グループ演習
グループ演習を中心とした研修



レクチャ
座学による研修
レクチャ



eラーニング
インターネット接続による
自己学習



その他



休講
今期の定期開催は
ありません

● JP1パフォーマンス管理製品を使用したシステムを構築・運用する方

JP1認定プロフェッショナル(パフォーマンス管理)資格対応

JPV282	マシン実習
JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理	
オンライン	2日間

または

JPJ282/JPJ282T	マシン実習
JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理	
集合	2日間

または

音声有・説明文なし	
JPE328	eラーニング
【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理	
12時間	

JP310	eラーニング
【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ！ JP1/PFM (Version 10)	
12時間	

JP019	eラーニング
【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ！ JP1/PFM (Version 11)	
12時間	

● JP1バックアップ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方

JP1認定プロフェッショナル(バックアップ管理)資格対応

JPV287	マシン実習
JP1プロフェッショナル バックアップ管理	
オンライン	1日間

または

JPJ287/JPJ287T	マシン実習
JP1プロフェッショナル バックアップ管理	
集合*	1日間

● JP1の販売に携わる方

JPJ302	レクチャ
【日立パートナー様 限定コース】 JP1セールスコーディネーター	
1日間	

* 集合研修での開催をご希望の場合はお問い合わせください。

音声有・説明文有 : 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)

音声なし・説明文有 : 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。



マシン実習
マシンを使用しながらの
研修



グループ演習
グループ演習を中心とした研修



レクチャ
座学による研修
レクチャ



eラーニング
インターネット接続による
自己学習

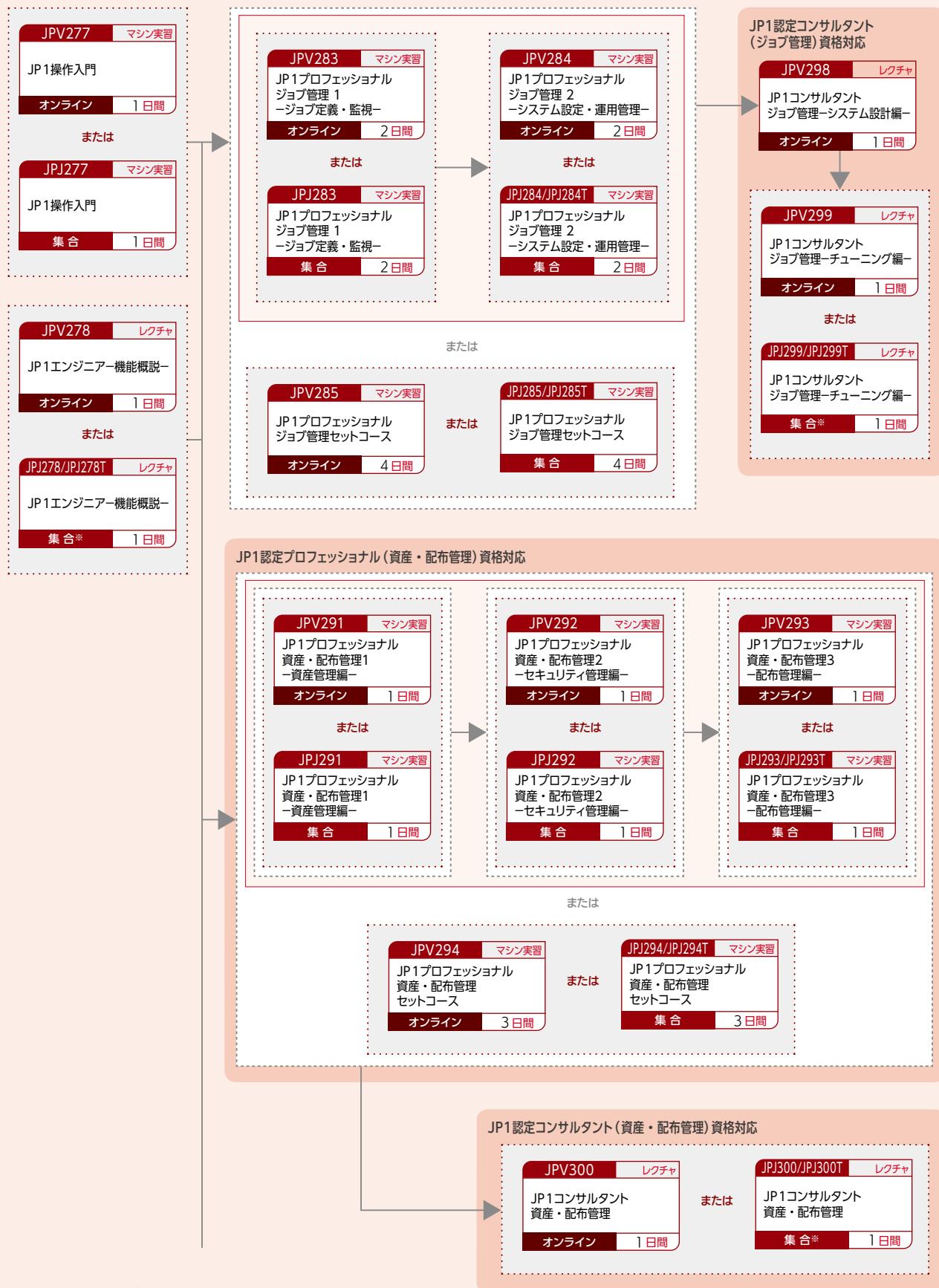


その他



休講
今期の定期開催は
ありません

● JP1の各カテゴリ製品のシステム設計をする方



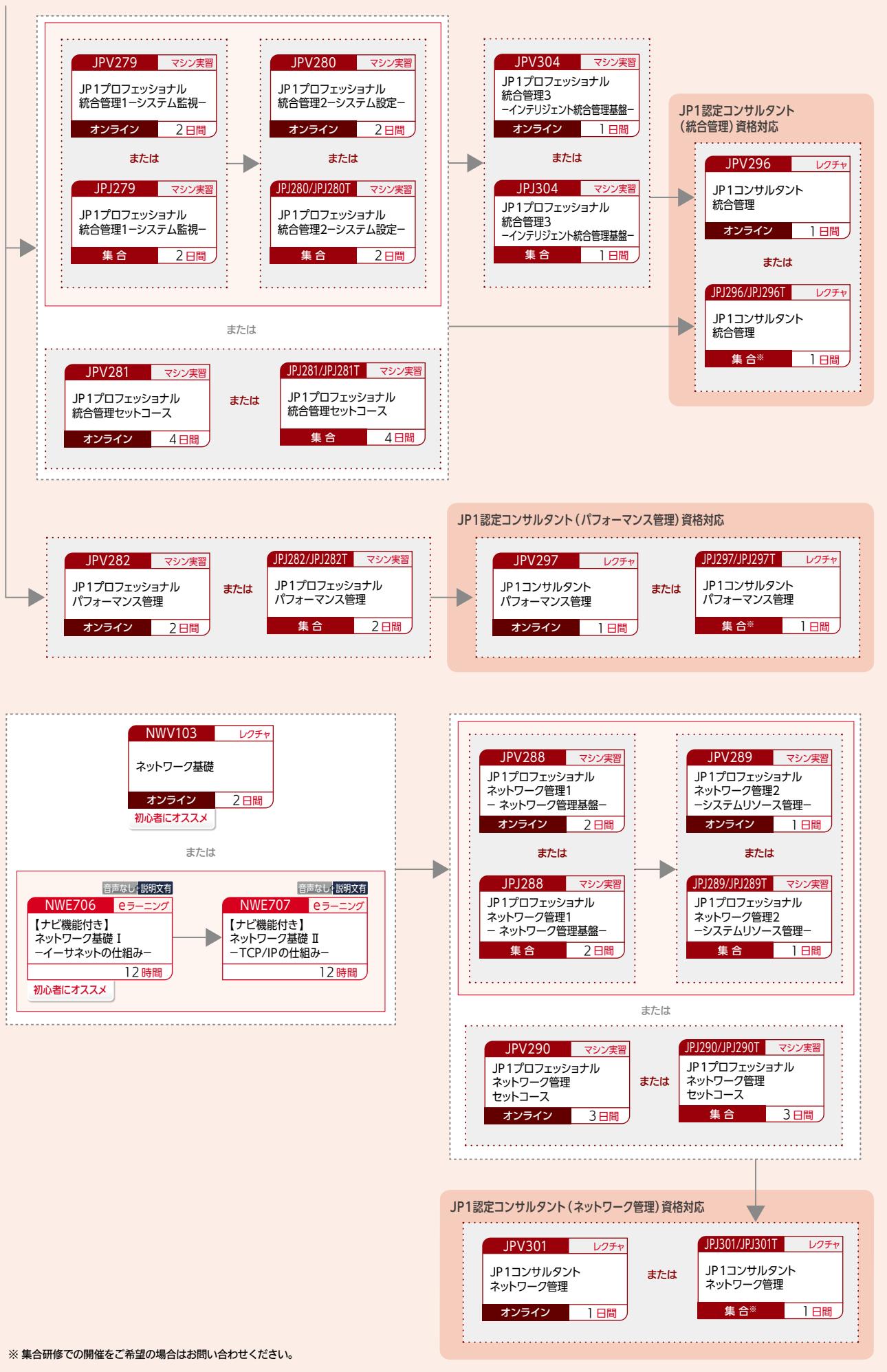
* 集合研修での開催をご希望の場合はお問い合わせください。

音声有・説明文有 : 説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）

音声なし・説明文有 : 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。



日立IT プラットフォーム技術者資格認定制度 — オープンミドルウェア編

日立IT プラットフォーム技術者資格認定制度(オープンミドルウェア編)は、JP 1 製品を対象に、一定以上のスキルを有する技術者を日立が認定する制度です。セールスからシステム構築・運用、アプリケーション開発まで目的ごと、さらにレベルごとに資格を設け、「試験」により、厳格・公正な評価基準でそのスキルレベルを認定します。

資格取得をサポート

試験合格をサポートする学習コース「講座」もご用意しております。講座は、試験に準拠した内容となっており、かつ高度な知識やノウハウを体系的・効率的に学べる、と大変好評をいただいております。

信頼と安心の技術者資格認定

資格取得者は、そのスキルレベルを客観的に示すことができ、日立オープンミドルウェア各製品をご利用いただくお客さま、ソリューションやサービスを提供する方々から高い信頼と評価を得ることができます。また、人材育成や技術者のテクニカルスキルをはかる尺度としても活用できます。

■ 資格取得者の特典

日立IT プラットフォーム技術者資格認定制度では、資格取得者に対して専用のWebサイトをご用意し、資格のバージョンアップや継続してスキルアップを図るために技術情報をご提供しております。(ご希望の方にはメールでもご案内しております。)

また、認定証や名刺に貼ってご利用いただける認定ロゴシールや印刷して使用できるロゴも資格者専用の会員サイトにてご提供しております。

<受験にあたってのお願い>

- ・受験当日は、ご本人を確認できる顔写真付き証明書(免許証、従業員証、パスポートなど)を忘れずにご持参ください。ご持参いただかない場合は、受験が無効になることがありますので、ご注意ください。
- ・認定試験はマークシート方式のため、鉛筆またはシャープペンシル、プラスチック製消しゴムをご持参ください。
- ・試験付コースをお申し込みの場合は、お申し込みの情報を日立オープンミドルウェア技術者認定センターに提供いたします。

■ JP 1 技術者資格認定試験一覧

試験名	試験内容	認定基準	試験時間
JP1認定エンジニア	CBT 日立	試験問題 20 問 70 %以上正解	40 分
JP1認定プロフェッショナル (各カテゴリ別認定)	CBT 日立	試験問題 30 問 70 %以上正解	60 分
・統合管理 ・資源・配布管理 ・ネットワーク管理	・パフォーマンス管理 ・セキュリティ管理 ・バックアップ管理	・ジョブ管理	
JP1認定コンサルタント (各カテゴリ別認定)	CBT 日立	試験問題 30 問 70 %以上正解	60 分
・統合管理 ・資源・配布管理	・パフォーマンス管理 ・ネットワーク管理	・ジョブ管理	
JP1認定セールスコーディネーター [※]	CBT 日立	試験問題 20 問 70 %以上正解	30 分

CBT CBT試験サービス会社で受験できる試験 日立 当社で研修とともに受験できる試験

※日立パートナー様のみ受験可能です。

資格認定試験は、(株)日立製作所が提供するものです。

運営は、(株)日立アカデミーおよびCBT試験サービス会社に委託しています。

※受験可能なCBT試験サービス会社は下記のWebサイトでお確かめください。

日立IT プラットフォーム技術者資格認定制度サイト ►► JP 1 <http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/jp1/event/cert/index.html>

● JP 1 技術者資格認定制度の詳細・最新情報について

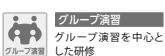
<http://www.hitachi.co.jp/products/it/cert/middleware/index.html>

● (株) 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部 日立オープンミドルウェア技術者認定センター お問い合わせ窓口

https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/it/soft/cert_contact/form.jsp



マシン実習
マシンを使用しながらの
研修



グループ演習
グループ演習を中心とした研修



レクチャ
座学による研修



eラーニング
インターネット接続による
自己学習



その他



休講
今期の定期開催はありません

JP1技術者資格認定制度（Version 12対応）

※Version 11については日立オープンミドルウェア技術者認定センターまでお問い合わせください。



JP1技術者資格認定制度は、JP1の一定以上のスキルを有する技術者を日立が認定する制度です。

セールスからシステム構築・運用まで目的ごと、さらにレベルごとに資格を設け、「JP1試験」により、厳格・公正な評価基準でそのスキルレベルを認定します。

JP1 技術者資格認定一覧

資格名	認定スキル
JP1認定エンジニア <Certified JP1 Engineer>	JP1全般の理解、および運用に必要なテクニカルスキルを修得したエンジニアを認定します。
JP1認定プロフェッショナル <Certified JP1 Professional> ・統合管理 ・セキュリティ管理 ・パフォーマンス管理 ・ネットワーク管理 ・ジョブ管理 ・バックアップ管理 ・資産・配布管理	JP1各カテゴリ製品の導入とシステム構築ができるテクニカルスキルを修得したエンジニアをカテゴリごとに認定します。
JP1認定コンサルタント <Certified JP1 Consultant> ・統合管理 ・資産・配布管理 ・パフォーマンス管理 ・ネットワーク管理 ・ジョブ管理	JP1各カテゴリ製品について、最適なコンサルテーションができるテクニカルスキルを修得したエンジニアを、カテゴリごとに認定します。
JP1認定セールスコーディネーター <Certified JP1 Sales Coordinator>*	お客様に対し最適なJP1の提案・見積りができるセールススキルを修得したエンジニアを認定します。

※日立パートナー様のみ受験可能です。

JP1 技術者資格認定制度の体系



JP1 技術者資格認定制度における出題範囲

試験名	試験の出題範囲
JP1認定エンジニア	「JP1エンジニア機能概説」(コースコード:JPV278、JPJ278)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル 統合管理	「JP1プロフェッショナル 統合管理 1 -システム監視-」(コースコード:JPV279、JPJ279)、 「JP1プロフェッショナル 統合管理 2 -システム設定-」(コースコード:JPV280、JPJ280)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル パフォーマンス管理	「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理」(コースコード:JPV282、JPJ282)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル ジョブ管理	「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 -ジョブ定義・監視-」(コースコード:JPV283、JPJ283)、 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 -システム設定・運用管理-」(コースコード:JPV284、JPJ284)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル 資産・配布管理	「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1 -資産管理編-」(コースコード:JPV291、JPJ291)、 「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 2 -セキュリティ管理編-」(コースコード:JPV292、JPJ292)、 「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 3 -配布管理編-」(コースコード:JPV293、JPJ293)、のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル ネットワーク管理	「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1 -ネットワーク管理基盤-」(コースコード:JPV288、JPJ288)、 「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2 -システムリソース管理-」(コースコード:JPV289、JPJ289)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル バックアップ管理	「JP1プロフェッショナル バックアップ管理」(コースコード:JPV287、JPJ287)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル セキュリティ管理	「JP1プロフェッショナル セキュリティ管理」(コースコード:JPV295、JPJ295)のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント 統合管理	「JP1コンサルタント 統合管理」(コースコード:JPV296、JPJ296)、 「JP1プロフェッショナル 統合管理 1 -システム監視-」(コースコード:JPV279、JPJ279)、 「JP1プロフェッショナル 統合管理 2 -システム設定-」(コースコード:JPV280、JPJ280)のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント パフォーマンス管理	「JP1コンサルタント パフォーマンス管理」(コースコード:JPV297、JPJ297)、 「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理」(コースコード:JPV282、JPJ282)のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント ジョブ管理	「JP1コンサルタント ジョブ管理-システム設計編-」(コースコード:JPV298、JPJ298)、 「JP1コンサルタント ジョブ管理-チューニング編-」(コースコード:JPV299、JPJ299)、 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 -ジョブ定義・監視-」(コースコード:JPV283、JPJ283)、 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 -システム設定・運用管理-」(コースコード:JPV284、JPJ284)のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント 資産・配布管理	「JP1コンサルタント 資産・配布管理」(コースコード:JPV300、JPJ300)、 「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1 -資産管理編-」(コースコード:JPV291、JPJ291)、 「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 2 -セキュリティ管理編-」(コースコード:JPV292、JPJ292)、 「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 3 -配布管理編-」(コースコード:JPV293、JPJ293)、のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント ネットワーク管理	「JP1コンサルタント ネットワーク管理」(コースコード:JPV301、JPJ301)、 「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1 -ネットワーク管理基盤-」(コースコード:JPV288、JPJ288)、 「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2 -システムリソース管理-」(コースコード:JPV289、JPJ289)のテキスト内容から出題
JP1認定セールスコーディネーター*	「JP1セールスコーディネーター」(コースコード:JPJ302)のテキスト内容から出題

※日立パートナー様のみ受験可能です。

JP277 JP1

 **JP1操作入門**
1日間

JP1の代表的な5製品の基本操作を、マシン実習を通して学習します。

到達目標 • JP1の主要5製品の特徴を説明できる。
 - JP1/Automatic Job Management System3（ジョブ管理）で業務を自動実行するための基本操作ができる。
 - JP1/IT Desktop Management2（資産・配布管理）で資産管理をするための基本操作ができる。
 - JP1/Network NodeManager i（ネットワーク管理）でネットワークの監視をするための基本操作ができる。
 - JP1/Performance Management（パフォーマンス管理）で稼働情報を監視するための基本操作ができる。
 - JP1/Integrated Management 2－Manager（統合管理）でシステム監視するための基本操作ができる。

対象者 JP1を使用してシステム運用管理をする方。JP1の導入を検討する方。

前提知識 オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語をご存知で、かつMicrosoft Windowsの操作経験があること。

内容 1. システム運用管理とJP1
2. ジョブ管理の操作入門
3. 資産・配布管理の操作入門
4. ネットワーク管理の操作入門
5. パフォーマンス管理の操作入門
6. 統合管理の操作入門

備考 • このコースは、最新のバージョンに対応します。
 - 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
 - マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
 - このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

JP277 JP1

 **JP1操作入門【バーチャル・クラスルーム】**
1日間

JP1の代表的な5製品の基本操作を、マシン実習を通して学習します。

到達目標 • JP1の主要5製品の特徴を説明できる。
 - JP1/Automatic Job Management System3（ジョブ管理）で業務を自動実行するための基本操作ができる。
 - JP1/IT Desktop Management2（資産・配布管理）で資産管理をするための基本操作ができる。
 - JP1/Network NodeManager i（ネットワーク管理）でネットワークの監視をするための基本操作ができる。
 - JP1/Performance Management（パフォーマンス管理）で稼働情報を監視するための基本操作ができる。
 - JP1/Integrated Management 2－Manager（統合管理）でシステム監視するための基本操作ができる。

対象者 JP1を使用してシステム運用管理をする方。JP1の導入を検討する方。

前提知識 オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語をご存知で、かつMicrosoft Windowsの操作経験があること。

内容 1. システム運用管理とJP1
2. ジョブ管理の操作入門
3. 資産・配布管理の操作入門
4. ネットワーク管理の操作入門
5. パフォーマンス管理の操作入門
6. 統合管理の操作入門

備考 • このコースは、最新のバージョンに対応します。
 - 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
 - マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
 - このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

JP278 JP1

 **JP1エンジニア機能概説ー【バーチャル・クラスルーム】**
1日間

すべての運用管理分野におけるJP1製品の機能を学習します。

到達目標 • JP1製品の特徴が説明できる。
 - 各管理製品にどのような製品があるか説明できる。
 - 各管理の主要製品の主な機能を説明できる。

対象者 JP1製品の導入を検討する方、JP1のシステム構築・販売する方、JP1認定エンジニア資格の取得をめざす方。

前提知識 オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語について知識があること。

内容 1. JP1の基礎知識
2. Intelligence
3. Intelligent Monitoring
4. Intelligent Automation
5. Intelligent Governance

備考 • このコースは、「JP1認定エンジニア」資格に準拠したコースです。
 - このコースは、最新のバージョンに対応します。
 - マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
 - このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 - 旧バージョンの製品をご利用の方でもご受講できます。
 - JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JP279 JP1

 **JP1プロフェッショナル 統合管理 1－システム監視**
2日間

JP1/Integrated Management 2 (JP1/IM)を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標 • セントラルコンソールとセントラルスコープの概要を説明できる。
 - セントラルコンソール、セントラルスコープを使って事象監視ができる。
 - イベント監視ページのカスタマイズができる。
 - セントラルコンソールに表示するイベントの設定（フィルター設定）ができる。
 - 自動アクションの設定ができる。
 - 重要イベントページのカスタマイズができる。
 - 必要なイベントを検索できる。
 - 他のJP1製品と連携したモニター起動と統合機能メニューを操作できる。
 - コマンド実行の操作ができる。

対象者 JP1/IMを使用してシステムを監視する方。JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1エンジニア機能概説」コース、または「JP1操作入門」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. 統合管理の全体像
2. システム監視
(1) システム監視の基本操作
(2) 繰り返しイベントの表示抑止
(3) フィルターによるJP1イベントの絞り込み
3. システム障害の検知
(1) 自動アクション
(2) ローカルアクション
(3) 重要イベントページ
(4) ビジュアル監視
(5) 監視ツリー
4. システム障害の調査・対処
(1) ガイド情報の表示
(2) メモ情報の設定
(3) コマンド実行

備考 • このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（統合管理）」資格に準拠したコースです。
 - このコースは、最新のバージョンに対応します。
 - 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
 - マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
 - このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

JP280/JP280T JP1

 **JP1プロフェッショナル 統合管理 2－システム設定**
2日間

JP1/Integrated Management 2 (JP1/IM)のインストール、設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

到達目標 • インストールする上で必要な製品構成を説明できる。
 - 認証サーバを構築し、JP1ユーザーを管理できる。
 - マネージャ・エージェントを構築できる。
 - ログファイル監視の設定ができる。
 - 監視ツリーの作成やカスタマイズができる。
 - ビジュアル監視の設定ができる。

対象者 JP1/IMのシステム構築をする方。JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル統合管理1－システム監視」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. 統合管理の概要
2. 統合管理の導入
(1) インストール (2) IMデータベースの構築
(3) サービスの起動・終了
3. JP1イベントの集中管理設定
(1) 構成管理設定 (2) JP1イベントの転送設定
(3) リモート監視構成管理の設定
4. ユーザー管理機能
(1) ユーザー認証の設定
(2) 認証サーバの閉塞 (3) ユーザーマッピングの設定
5. 監視対象の設定
(1) アプリケーションが出手するログの監視
(2) Windowsイベントログの監視
(3) リモート監視ホストのログ監視
(4) イベントストリーム発生時のイベント転送抑止設定
6. 監視画面の設定
(1) セントラルスコープのセットアップ
(2) 監視ツリー画面の設定
(3) ビジュアル監視画面の設定

備考 • このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（統合管理）」資格に準拠したコースです。
 - このコースは、最新のバージョンに対応します。
 - マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
 - このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 - 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
 - このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
 コースコード：JP281(研修のみ)
 コースコード：JP281T(試験付)
 • 試験付コースは、研修終了後にJP1試験を行います。
 • 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覗ください。
 - JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JP281/JP281T JP1

 **JP1プロフェッショナル 統合管理 セットコース**
4日間

JP1/Integrated Management 2 (JP1/IM)を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、マシン実習を通して学習します。また、JP1/IMのインストール・設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

●このコースは、セットコースのご案内となります。各コースの詳細情報をご参照ください。

<JP279>
JP1プロフェッショナル 統合管理 1－システム監視－

<JP280/JP280T>
JP1プロフェッショナル 統合管理 2－システム設定－

備考 • このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（統合管理）」資格に準拠したコースです。
 - このコースは、最新のバージョンに対応します。
 - マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
 - このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 - 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
 - このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
 コースコード：JP281(研修のみ)
 コースコード：JP281T(試験付)
 • 試験付コースは、研修終了後にJP1試験を行います。
 • 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覗ください。
 - JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

<p>JPV279 JP1</p>  <p>JP1プロフェッショナル 統合管理 1 —システム監視ー<【バーチャル・クラスルーム】</p> <p>2日間</p> <p>JP1/Integrated Management 2 (JP1/IM) を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、マシン実習を通して学習します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> セントラルコンソールとセントラルスコープの概要を説明できる。 セントラルコンソール、セントラルスコープを使って事象監視ができる。 イベント監視ページのカスタマイズができる。 セントラルコンソールに表示するイベントの設定(フィルター設定)ができる。 自動アクションの設定ができる。 重要イベントページのカスタマイズができる。 必要なイベントを検索できる。 他のJP1製品と連携したモニター起動と統合機能メニューを操作できる。 コマンド実行の操作ができる。 <p>対象者</p> <p>JP1/IMを使用してシステムを監視する方。JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。</p> <p>前提知識</p> <p>「JP1エンジニアー機能概説」コース、または「JP1操作入門」コースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 統合管理の全体像 システム監視 <ol style="list-style-type: none"> システム監視の基本操作 繰り返しイベントの表示抑止 フィルターによるJP1イベントの絞り込み システム障害の検知 <ol style="list-style-type: none"> 自動アクション ローカルアクション 重要イベントページ ビジュアル監視 監視ツリー システム障害の調査・対処 <ol style="list-style-type: none"> ガイド情報の表示 メモ情報の設定 コマンド実行 <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(統合管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、最新のバージョンに対応します。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 	<p>JPV280 JP1</p>  <p>JP1プロフェッショナル 統合管理 2 —システム設定ー<【バーチャル・クラスルーム】</p> <p>2日間</p> <p>JP1/Integrated Management 2 (JP1/IM) のインストール、設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> インストールする上で必要な製品構成を説明できる。 認証サーバを構築し、JP1ユーザーを管理できる。 マネージャ・エージェントを構築できる。 ログファイル監視の設定ができる。 監視ツリーの作成やカスタマイズができる。 ビジュアル監視の設定ができる。 <p>対象者</p> <p>JP1/IMのシステム構築をする方。JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。</p> <p>前提知識</p> <p>「JP1プロフェッショナル統合管理1—システム監視ー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 統合管理の概要 統合管理の導入 <ol style="list-style-type: none"> インストール IMデータベースの構築 サービスの起動・終了 JP1イベントの集中管理設定 <ol style="list-style-type: none"> 構成管理設定 JP1イベントの転送設定 リモート監視構成管理の設定 ユーザー管理機能 <ol style="list-style-type: none"> ユーザー認証の設定 認証サーバの閉塞 ユーザーマッピングの設定 監視対象の設定 <ol style="list-style-type: none"> アプリケーションが発するログの監視 Windowsイベントログの監視 リモート監視ホストのログ監視 イベントストーム発生時のイベント転送抑止設定 監視画面の設定 <ol style="list-style-type: none"> セントラルスコープのセットアップ 監視ツリー画面の設定 ビジュアル監視画面の設定 <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(統合管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、最新のバージョンに対応します。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。 	<p>JPV281 JP1</p>  <p>JP1プロフェッショナル 統合管理 セットコース 【バーチャル・クラスルーム】</p> <p>4日間</p> <p>JP1/Integrated Management 2 (JP1/IM) を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、マシン実習を通して学習します。また、JP1/IMのインストール・設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。</p> <p>●このコースは、セットコースのご案内となります。各コースの詳細情報をご参照ください。</p> <p><JPV279> JP1プロフェッショナル 統合管理 1—システム監視ー<【バーチャル・クラスルーム】 <JPV280> JP1プロフェッショナル 統合管理 2—システム設定ー<【バーチャル・クラスルーム】</p> <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(統合管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、最新のバージョンに対応します。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。
<p>JP304 JP1</p>  <p>JP1プロフェッショナル 統合管理3 —インテリジェント統合管理基盤ー<【バーチャル・クラスルーム】</p> <p>1日間</p> <p>このコースでは、JP1/Integrated Management2 (JP1/IM) のインテリジェント統合管理基盤の設定、およびインテリジェント統合管理基盤を利用したシステムの監視に関する知識を、マシン実習を通して学習します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> インテリジェント統合管理基盤を利用する上で必要な製品構成や前提条件を説明できる。 インテリジェント統合管理基盤のセットアップが実施でき、統合オペレーション・ビューアによる監視ができる。 連携製品から情報を取得し監視するための設定が実施でき、連携製品を含めたシステムの監視ができる。 インテリジェント統合管理基盤を利用して、システムの監視をユーザー独自にカスタマイズするための仕組みについて説明できる。 <p>対象者</p> <p>JP1/IM2のインテリジェント統合管理基盤を利用して監視を行うシステム構築をする方。</p> <p>前提知識</p> <p>「JP1プロフェッショナル統合管理1—システム監視ー」および「JP1プロフェッショナル統合管理2—システム設定ー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> インテリジェント統合管理基盤の設定方法 連携製品との連携のための設定方法 統合オペレーション・ビューアの操作とシステム監視の方法 ユーザー作成プラグインとREST API <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> このコースは、最新のバージョンに対応します。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 	<p>JP304 JP1</p>  <p>JP1プロフェッショナル 統合管理3 —インテリジェント統合管理基盤ー<【バーチャル・クラスルーム】</p> <p>1日間</p> <p>このコースでは、JP1/Integrated Management 2 (JP1/IM) のインテリジェント統合管理基盤の設定、およびインテリジェント統合管理基盤を利用したシステムの監視に関する知識を、マシン実習を通して学習します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> インテリジェント統合管理基盤を利用する上で必要な製品構成や前提条件を説明できる。 インテリジェント統合管理基盤のセットアップが実施でき、統合オペレーション・ビューアによる監視ができる。 連携製品から情報を取得し監視するための設定が実施でき、連携製品を含めたシステムの監視ができる。 インテリジェント統合管理基盤を利用して、システムの監視をユーザー独自にカスタマイズするための仕組みについて説明できる。 <p>対象者</p> <p>JP1/IM2のインテリジェント統合管理基盤を利用して監視を行うシステム構築をする方。</p> <p>前提知識</p> <p>「JP1プロフェッショナル統合管理1—システム監視ー」および「JP1プロフェッショナル統合管理2—システム設定ー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> インテリジェント統合管理基盤の設定方法 連携製品との連携のための設定方法 統合オペレーション・ビューアの操作とシステム監視の方法 ユーザー作成プラグインとREST API <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> このコースは、最新のバージョンに対応します。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 	<p>JPE326 JP1</p>  <p><eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル 統合管理1 —システム監視ー</p> <p>12時間</p> <p>JP1/Integrated Management 2 (JP1/IM) を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> セントラルコンソールとセントラルスコープの概要を説明できる。 セントラルコンソール、セントラルスコープを使って事象監視ができる。 イベント監視ページのカスタマイズができる。 セントラルコンソールに表示するイベントの設定(フィルター設定)ができる。 自動アクションの設定ができる。 重要イベントページのカスタマイズができる。 必要なイベントを検索できる。 他のJP1製品と連携したモニター起動と統合機能メニューを操作できる。 コマンド実行の操作ができる。 <p>対象者</p> <p>JP1/IMを使用してシステムを監視する方。JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。</p> <p>前提知識</p> <p>「JP1エンジニアー機能概説」コース、または「JP1操作入門」コースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 統合管理の全体像 システム監視 <ol style="list-style-type: none"> システム監視の基本操作 繰り返しイベントの表示抑止 フィルターによるJP1イベントの絞り込み システム障害の検知 <ol style="list-style-type: none"> 自動アクション ローカルアクション 重要イベントページ ビジュアル監視 システム障害の調査・対処 <ol style="list-style-type: none"> ガイド情報の表示 メモ情報の設定 コマンド実行 <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> サービス有効期間は21日間です。 お申し込み前に必ずご確認ください。 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある授講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必要です) このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用いただった方は、受講者とお申込責任者のE-Mailアドレスが必要となります。

JPE327	JP1
 eラーニング	<eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル 統合管理2 ーシステム設定
12時間	
	JP1/Integrated Management 2(JP1/IM)のインストール・設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。
到達目標	・インストールする上で必要な製品構成を説明できる。 ・認証サーバを構築し、JP1ユーザーを管理できる。 ・メッセージ・エージェントを構築できる。 ・ログファイル監視の設定ができる。 ・監視ツリーの作成やカスタマイズができる。 ・ビューアル監視の設定ができる。
対象者	JP1/IMのシステム構築をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。
前提知識	「JP1プロフェッショナル統合管理1-システム監視-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. 統合管理の概要 2. 統合管理の導入 (1)インストール (2)IMデータベースの構築 (3)サービスの起動・終了 3. JP1イベントの集中管理設定 (1)構成管理設定 (2)JP1イベントの転送設定 (3)モート監視構成管理の設定 4. ユーザー管理機能 (1)ユーザー認証の設定 (2)認証サーバの閉塞 (3)ユーザーマッピングの設定 5. 監視対象の設定 (1)アラート基準が付出するログの監視 (2)Windowsイベントログの監視 (3)モート監視ホストのログ監視 (4)イベントストーム発生時のイベント転送抑止設定 6. 監視画面の設定 (1)セキュリティスコープのセットアップ (2)監視ツリー画面の設定 (3)ビューアル監視画面の設定
備考	・サービス有効期間は21日間です。 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必要です) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。 ・インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必要となります。 ・このコースは、「JP1認定プロフェッショナル」資格に準拠したコースです。

JP282/JPJ282T	JP1
 マシン実習	JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理
2日間	
	ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management(JP1/PFM)製品の機能について、マシン実習を通して学習します。
到達目標	・JP1/PFMのインストールとセットアップができる。 ・パフォーマンスデータの収集ができる。 ・レポート、アラームの作成、操作ができる。 ・統合コンソールとの連携設定ができる。
対象者	JP1/PFMのシステム構築、稼働情報監視を行う方。JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。
前提知識	オペレーティングシステムや各種サーバの基礎的な知識があること。
内容	1. アペイラビリティ管理の概要 2. JP1/PFMによる稼働情報の監視 (1)監視コンソールサーバへのログイン (2)サーバの稼働監視 (3)アラームによる稼働監視 (4)レポートによるパフォーマンスデータの参照 3. JP1/PFMのシステム構築 (1)JP1/PFMのシステム構成 (2)JP1/PFMのインストールとセットアップ (3)JP1/PFM-RMのセットアップ(エージェントレス構成) (4)JP1/PFMの起動と停止 (5)ユーザーアカウントの管理 4. 監視エージェントの設定 (1)エージェント階層の設定 (2)パフォーマンスデータの収集設定 (3)レポート定義のカスタマイズ (4)新規レポートの定義 5. アラーム定義 (1)アラームの概要 (2)クイックガイドでのアラームの作成 (3)アラーム階層でのアラーム作成 (4)プロセス・サービスの稼働状況監視 (5)複数アラームテーブルの監視 (6)稼働状況のサマリ表示 6. 総合コンソールとの連携 (1)統合コンソールとの連携の概要 (2)サーバ稼働管理と統合コンソールの連携
備考	・このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(パフォーマンス管理)」資格に準拠したコースです。 ・このコースは、最新のバージョンに対応します。 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。 ・コースコード：JP1282(研修のみ) ・コースコード：JP1282T(試験付) ・試験付コースは、研修終了後にJP1試験を行います。 ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 ・JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JP282	JP1
 マシン実習	JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 【パーカル・クラスルーム】
2日間	
	ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management(JP1/PFM)製品の機能について、マシン実習を通して学習します。
到達目標	・JP1/PFMのインストールとセットアップができる。 ・パフォーマンスデータの収集ができる。 ・レポート、アラームの作成、操作ができる。 ・統合コンソールとの連携設定ができる。
対象者	JP1/PFMのシステム構築、稼働情報監視を行う方。JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。
前提知識	オペレーティングシステムや各種サーバの基礎的な知識があること。
内容	1. アペイラビリティ管理の概要 2. JP1/PFMによる稼働情報の監視 (1)監視コンソールサーバへのログイン (2)サーバの稼働監視 (3)アラームによる稼働監視 (4)レポートによるパフォーマンスデータの参照 3. JP1/PFMのシステム構築 (1)JP1/PFMのシステム構成 (2)JP1/PFMのインストールとセットアップ (3)JP1/PFM-RMのセットアップ(エージェントレス構成) (4)JP1/PFMの起動と停止 (5)ユーザーアカウントの管理 4. 監視エージェントの設定 (1)エージェント階層の設定 (2)パフォーマンスデータの収集設定 (3)レポート定義のカスタマイズ (4)新規レポートの定義 5. アラーム定義 (1)アラームの概要 (2)クイックガイドでのアラームの作成 (3)アラーム階層でのアラーム作成 (4)プロセス・サービスの稼働状況監視 (5)複数アラームテーブルの監視 (6)稼働状況のサマリ表示 6. 総合コンソールとの連携 (1)エージェント階層での連携の概要 (2)サーバ稼働管理と統合コンソールの連携
備考	・このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(パフォーマンス管理)」資格に準拠したコースです。 ・このコースは、最新のバージョンに対応します。 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 ・JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JPE328	JP1
 eラーニング	<eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理
12時間	
	JP1/Automatic Job Management System 3(JP1/AJS3)を使用して、業務を自動化するための定義や監視を行う機能を、マシン実習を通して学習します。
到達目標	・JP1/PFMのインストールとセットアップができる。 ・パフォーマンスデータの収集ができる。 ・レポート、アラームの作成、操作ができる。 ・統合コンソールとの連携設定ができる。
対象者	JP1/PFMのシステム構築、稼働情報監視を行う方。JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。
前提知識	オペレーティングシステムや各種サーバの基礎的な知識があること。
内容	1. アペイラビリティ管理の概要 2. JP1/PFMによる稼働情報の監視 (1)監視コンソールサーバへのログイン (2)サーバの稼働監視 (3)アラームによる稼働監視 (4)レポートによるパフォーマンスデータの参照 3. JP1/PFMのシステム構築 (1)JP1/PFMのシステム構成 (2)JP1/PFMのインストールとセットアップ (3)JP1/PFM-RMのセットアップ(エージェントレス構成) (4)JP1/PFMの起動と停止 (5)ユーザーアカウントの管理 4. 監視エージェントの設定 (1)エージェント階層の設定 (2)パフォーマンスデータの収集設定 (3)レポート定義のカスタマイズ (4)新規レポートの定義 5. アラーム定義 (1)アラームの概要 (2)クイックガイドでのアラームの作成 (3)アラーム階層でのアラーム作成 (4)プロセス・サービスの稼働状況監視 (5)複数アラームテーブルの監視 (6)稼働状況のサマリ表示 6. 総合コンソールとの連携 (1)統合コンソールとの連携の概要 (2)サーバ稼働管理と統合コンソールの連携
備考	・サービス有効期間は21日間です。 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必要です) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。 ・インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必要となります。 ・このコースは、「JP1認定プロフェッショナル」資格に準拠したコースです。

JP283	JP1
 マシン実習	JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 -ジョブ定義・監視-
2日間	
	JP1/Automatic Job Management System 3(JP1/AJS3)を使用して、業務を自動化するための定義や監視を行う機能を、マシン実習を通して学習します。
到達目標	・JP1/AJS3の機能概要が説明できる。 ・自動化する業務(ジョブグループ、ジョブネット、ジョブ)の定義ができる。 ・運用スケジュール(運用日・休業日、開始時刻、サイクルなど)の設定ができる。 ・業務を実行する条件(イベント監視、起動条件)の定義ができる。 ・ジョブネットの実行(即時、計画、確定)および監視(ジョブネット実行状況・結果、スケジュール運用状況)の操作ができる。
対象者	JP1/AJS3を使用してシステム運用管理をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。
前提知識	Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。
内容	1. JP1/AJS3の概要 2. 業務の自動化 (1)ジョブ定義 (2)即時実行登録 (3)ジョブ実行状況の監視 3. スケジュールに基づいた業務の自動運用 (1)カレンダー情報の設定 (2)スケジュール設定 (3)計画/確定実行登録 (4)実行スケジュールの確認 4. 特定の事象を契機とした業務の自動運用 (1)ファイル更新契機のジョブの実行 (2)起動条件の設定 5. 業務の実行監視 6. 総合コンソールとの連携 ・このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(ジョブ管理)」資格に準拠したコースです。 ・このコースは、最新のバージョンに対応します。 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。 ・コースコード：JP1283(研修のみ) ・コースコード：JP1283T(試験付) ・試験付コースは、研修終了後にJP1試験を行います。 ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 ・JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。
備考	・このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(ジョブ管理)」資格に準拠したコースです。 ・このコースは、最新のバージョンに対応します。 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。 ・コースコード：JP1283(研修のみ) ・コースコード：JP1283T(試験付) ・試験付コースは、研修終了後にJP1試験を行います。 ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 ・JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JP284/JPJ284T	JP1
 マシン実習	JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 -システム設定・運用管理-
2日間	
	JP1/Automatic Job Management System 3(JP1/AJS3)のインストール、設定、運用に関する知識を、マシン実習を通して学習します。
到達目標	・JP1/AJS3製品のインストールができる。 ・エージェントの追加・変更ができる。 ・JP1/AJS3を操作するためのユーザー情報の設定ができる。 ・ジョブネットの定義の退避・回復・運用状況監視の操作ができる。 ・運用中のジョブネットの変更(ジョブネット変更・リリース管理)ができる。
対象者	JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。
前提知識	「JP1プロフェッショナルジョブ管理-ジョブ定義・監視-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. JP1/AJS3のインストール (1)JP1/Base /JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View 2. ジョブ実行環境の設定 (1)エージェント管理機能の設定 3. ユーザー管理機能の設定 (1)JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザーマッピング 4. JP1/AJS3システムの運用 (1)複数スケジューラーサービス (2)スケジューラーサービス参照制限 (3)実行エージェントの制限 (4)同時接続数制限 5. ジョブネットの運用 (1)ジョブネット定義の退避・回復 (2)運用中のジョブネット変更 (3)運用状況の監視 6. 総合コンソールとの連携 ・このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(ジョブ管理)」資格に準拠したコースです。 ・このコースは、最新のバージョンに対応します。 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。 ・コースコード：JP1284(研修のみ) ・コースコード：JP1284T(試験付) ・試験付コースは、研修終了後にJP1試験を行います。 ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 ・JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。
備考	・このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(ジョブ管理)」資格に準拠したコースです。 ・このコースは、最新のバージョンに対応します。 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。 ・コースコード：JP1284(研修のみ) ・コースコード：JP1284T(試験付) ・試験付コースは、研修終了後にJP1試験を行います。 ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 ・JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

 マシン実習	マシンを使用しながらの研修	 グループ演習	グループ演習を中心とした研修	 レクチャ	座学による研修	 eラーニング	インターネット接続による自己学習	 その他	 休講	休講	今期の定期開催はありません
---	---------------	--	----------------	--	---------	--	------------------	--	--	----	---------------

JP285/JP285T JP1

JP1プロフェッショナル ジョブ管理
セットコース

4日間

JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3) を使用して、業務を自動化するための定義や監視を行う機能を、マシン実習を通して学習します。また、JP1/AJS3のインストール・設定・運用に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

- このコースは、セットコースのご案内となります。
各コースの詳細情報をご参照ください。

<JPJ283>

JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1
—ジョブ定義・監視—

<JPJ284/JPJ284T>

JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2
—システム設定・運用管理—

- 備考**
- このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(ジョブ管理)」資格に準拠したコースです。
 - このコースは、最新のバージョンに対応します。
 - マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
 - このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 - 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
 - このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
 - コースコード：JP1285(研修のみ)
 - コースコード：JP1285T(試験付)
 - 試験付コースは、研修終了後にJP1試験を行います。
 - 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
 - JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JPV283 JP1

JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1
—ジョブ定義・監視—
【バーチャル・クラスルーム】

2日間

JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3) を使用して、業務を自動化するための定義や監視を行う機能を、マシン実習を通して学習します。

到達目標 JP1/AJS3の機能概要が説明できる。

- 自動化する業務(ジョブグループ、ジョブネット、ジョブ)の定義ができる。
- 運用スケジュール(運用日・休業日、開始時刻、サイクルなど)の設定ができる。
- 業務を実行する条件(イベント監視、起動条件)の定義ができる。
- ジョブネットの実行(即時、計画、確定)および監視(ジョブネット実行状況・結果、スケジュール運用状況)の操作ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用してシステム運用管理をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内容 1. JP1/AJS3の概要

- 業務の自動化
 - ジョブ定義
 - 即時実行登録
 - ジョブ実行状況の監視
- スケジュールに基づいた業務の自動運用
 - カレンダー情報の設定
 - スケジュール設定
 - 計画/確定実行登録
 - 実行スケジュールの確認
- 特定の事象を契機とした業務の自動運用
 - ファイル更新契機のジョブの実行
 - 起動条件の設定
- 業務の実行監視

備考

- このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(ジョブ管理)」資格に準拠したコースです。
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JPV284 JP1

JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2
—システム設定・運用管理—
【バーチャル・クラスルーム】

2日間

JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3) のインストール、設定、運用に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

到達目標 JP1/AJS3製品のインストールができる。

- エージェントの追加・変更ができる。
- JP1/AJS3を操作するためのユーザー情報の設定ができる。
- ジョブネットの定義の退避・回復、運用状況監視の操作ができる。
- 運用中のジョブネットの変更(ジョブネット変更・リリース管理)ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナルジョブ管理—ジョブ定義・監視—」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. JP1/AJS3のインストール

- (1) JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View
2. ジョブ実行環境の設定
 - (1) エージェント管理機能の設定
 3. ユーザー管理機能の設定
 - (1) JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザー・マッピング
 4. JP1/AJS3システムの運用
 - (1) 複数スケジューラーサービス
 - (2) スケジューラーサービス参照制限
 - (3) 実行エージェントの制限
 - (4) 同時接続数制限
 5. ジョブネットの運用
 - (1) ジョブネット定義の退避・回復
 - (2) 運用中のジョブネット変更
 - (3) 運用状況の監視

備考

- このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(ジョブ管理)」資格に準拠したコースです。
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JPV285 JP1

JP1プロフェッショナル ジョブ管理
セットコース
【バーチャル・クラスルーム】

4日間

JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3) を使用して、業務を自動化するための定義や監視を行う機能を、マシン実習を通して学習します。また、JP1/AJS3のインストール・設定・運用に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

- このコースは、セットコースのご案内となります。
各コースの詳細情報をご参照ください。

<JPV283>

JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1
—ジョブ定義・監視—【バーチャル・クラスルーム】

<JPV284>

JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2
—システム設定・運用管理—【バーチャル・クラスルーム】

- 備考**
- このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(ジョブ管理)」資格に準拠したコースです。
 - このコースは、最新のバージョンに対応します。
 - マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
 - このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 - 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
 - JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JPE322 JP1

<eラーニング>【マシン演習付き】
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1
—ジョブ定義・監視—

12時間

JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3) の業務自動化定義や監視操作を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標 JP1/AJS3の機能概要が説明できる。

- 自動化する業務(ジョブグループ、ジョブネット、ジョブ)の定義ができる。
- 運用スケジュール(運用日・休業日、開始時刻、サイクルなど)の設定ができる。
- 業務を実行する条件(イベント監視、起動条件)の定義ができる。
- ジョブネットの実行(即時、計画、確定)および監視(ジョブネット実行状況・結果、スケジュール運用状況)の操作ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用してシステム運用管理をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内容 1. JP1/AJS3の概要

- 業務の自動化
 - ジョブ定義
 - 即時実行登録
 - ジョブ実行状況の監視
- スケジュールに基づいた業務の自動運用
 - カレンダー情報の設定
 - スケジュール設定
 - 計画/確定実行登録
 - 実行スケジュールの確認
- 特定の事象を契機とした業務の自動運用
 - ファイル更新契機のジョブの実行
 - 起動条件の設定
- 業務の実行監視
- 修了試験(JP1認定資格試験ではありません)

備考

- サービス有効期間は21日間です。

【お申込み前に必ずご確認ください】
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)

- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<http://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf>
- このコースは、最新バージョンに対応しております。
- 旧バージョンをご利用の方でもご受講できます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。

- このコースは、「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1—ジョブ定義・監視—」コース(集合研修)と同内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないよう注意ください。

- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。

- お申込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用いただけた方は、ご受講者とお申込責任者のE-Mailアドレスが必須となります。

JPE323 JP1

<eラーニング>【マシン演習付き】
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2
—システム設定・運用管理—

12時間

JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3) のインストール・設定・運用に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標 JP1/AJS3のインストールができる。

- ジョブ実行環境の接続アダプターができる。
- JP1/AJS3を操作するユーザー情報の設定ができる。
- JP1/AJS3システムの分割および参照制限ができる。
- 実行エージェントや接続元ホストでのジョブ実行の制限ができる。
- JP1ユーザーの同時接続制限ができる。
- ジョブネットの定義の退避・回復、運用状況監視の操作ができる。
- 運用中のジョブネットの変更ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方。

前提知識 「JP1プロフェッショナルジョブ管理—ジョブ定義・監視—」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. JP1/AJS3のインストール

- (1) JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View
2. ジョブ実行環境の設定
 - (1) エージェント管理機能の設定
 3. ユーザー管理機能の設定
 - (1) JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザー・マッピング
 4. JP1/AJS3システムの運用
 - (1) 複数スケジューラーサービス
 - (2) スケジューラーサービス参照制限
 - (3) 実行エージェントの制限
 - (4) 同時接続数制限
 5. ジョブネットの運用
 - (1) ジョブネット定義の退避・回復
 - (2) 運用中のジョブネット変更
 - (3) 運用状況の監視

備考

- サービス有効期間は21日間です。

【お申込み前に必ずご確認ください】
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)

- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースは、「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1—システム設定・運用管理—」コース(集合研修)と同内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないよう注意ください。

- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。

- お申込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用いただけた方は、ご受講者とお申込責任者のE-Mailアドレスが必須となります。

<p>JPV303 JP1</p>  <p>JP1プロフェッショナル ジョブ管理 —クライアント業務自動化— 【バーチャル・クラスルーム】</p> <p>1日間</p> <p>JP1/Client Process Automation (JP1/CPA)を使用して、クライアント業務を自動化するための定義や実行、状態確認を行なう機能を、マシン実習を通して修得できます。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> JP1/CPAの概要が説明できる。 自動化するクライアント業務(ジョブ、アクションフローなど)の定義ができる。 運用スケジュール(運用日・休業日、開始時刻、サイクルなど)の設定ができる。 業務を実行する条件(日時条件、イベント監視、実行条件など)の定義ができる。 ジョブの実行(即時、日時実行、イベント実行)および状態確認(ジョブの状態確認・再実行、停止)の操作ができる。 <p>対象者</p> <p>JP1/CPA(ClientProcessAutomation)によるクライアント業務自動化を行う方。</p> <p>前提知識</p> <p>Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。</p> <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> JP1/CPAの概要 JP1/CPAによるクライアント業務の自動化 スケジュールに基づいた業務の自動化 特定の事象を契機とした業務の自動化 ジョブの状態確認 JP1/Automatic Job Management System 3やRPA製品との連携について <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> このコースは、最新のバージョンに対応します。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行ないます。 	<p>JPV286 JP1</p>  <p>JP1プロフェッショナル IT運用自動化 【バーチャル・クラスルーム】</p> <p>2日間</p> <p>JP1/Automatic Operation (JP1/AO)を使用してIT運用自動化のための定義や監視を行う機能をマシン実習を通して学習します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> JP1/AOの概要が説明できる。 JP1/AOのインストールができる。 サービスの登録、設定、実行の操作ができる。 サービステンプレートの作成、部品の作成、カスタマイズができる。 JP1/Navigation Platform (JP1/NP)と連携した運用ができる。 <p>対象者</p> <p>JP1/AOを使用してシステム構築・運用管理をする方。</p> <p>前提知識</p> <p>Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。</p> <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> JP1/AOの概要 設計と構築 JP1/AO運用 サービステンプレートの作成 JP1/NPとの連携 <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> このコースは、最新のバージョンに対応します。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行ないます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 	<p>JPV288 JP1</p>  <p>JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1 —ネットワーク管理基盤—</p> <p>2日間</p> <p>ネットワーク接続機器の監視、管理を行うJP1/Network Node Manager i (JP1/NNMi)製品の機能について、マシン実習を通して学習します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> JP1/NNMiのシステム構成と基本機能を説明できる。 JP1/NNMiのインストール後のセットアップができる。 監視環境の構築(検出、ポーリング設定)ができる。 インシデントの管理ができる。 <p>対象者</p> <p>JP1/NNMiを使用したネットワーク管理、システム構築を行う方。</p> <p>前提知識</p> <p>「ネットワーク基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。「ネットワーク管理概説と演習」コースを修了しているか、ネットワーク管理プロトコルであるSNMPに関する知識があること。</p> <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> JP1によるネットワーク管理の概要 <ol style="list-style-type: none"> (1)JP1によるネットワーク管理 (2)ネットワーク管理オプション製品 (3)JP1/NNMiを使ったネットワーク管理の概要 セットアップ <ol style="list-style-type: none"> (1)システム構成 (2)ユーザーアカウントの作成 (3)通信の基本設定 監視対象の登録 <ol style="list-style-type: none"> (1)ノードの登録 (2)管理モード (3)ノードグループの作成 障害監視・性能監視 <ol style="list-style-type: none"> (1)障害監視の動作 (2)監視設定 (3)性能情報の利用 インシデント管理 <ol style="list-style-type: none"> (1)インシデントの監視 (2)インシデントへの対応 (3)インシデント管理の設定 <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(ネットワーク管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、最新のバージョンに対応します。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行ないます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
<p>JP289/JP289T JP1</p>  <p>JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2 —システムリソース管理—</p> <p>1日間</p> <p>JP1/SNMP System Observer (JP1/SSO)を使用したサーバーのリソース管理、プロセス監視の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> JP1/SSOのシステム構成と基本機能を説明できる。 JP1/SSOのインストールができる。 システムリソースの参照、収集設定ができる。 プロセスリソースの状態監視、監視設定ができる。 JP1/NNMiとの連携設定ができる。 <p>対象者</p> <p>JP1/SNMP System Observer (JP1/SSO)を使用してサーバーのリソース管理、プロセス管理を行なう方。</p> <p>前提知識</p> <p>「JP1プロフェッショナルネットワーク管理1—ネットワーク管理基盤—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> JP1によるリソース管理の概要 セットアップ <ol style="list-style-type: none"> (1)システム構成 (2)監視マージ、監視サーバー、リモート操作端末のセットアップ (3)SSOコンソールのユーザ認証 システムリソース管理 <ol style="list-style-type: none"> (1)システムリソースの収集、参照 (2)レポート機能 プロセスおよびサービス監視 <ol style="list-style-type: none"> (1)監視設定、状態監視 <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(ネットワーク管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、最新のバージョンに対応します。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行ないます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。 コースコード：JPJ289(研修のみ) コースコード：JPJ289T(試験付) 試験付コースは、研修終了後にJP1試験を行います。 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。 	<p>JP290/JP290T JP1</p>  <p>JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース</p> <p>3日間</p> <p>ネットワーク接続管理の監視、管理を行うJP1/Network Node Manager i (JP1/NNMi)製品の機能について、マシン実習を通して学習します。また、JP1/SNMP System Observer (JP1/SSO)を使用したサーバーのリソース管理、プロセス監視の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。</p> <p>●このコースは、セットコースのご案内となります。各コースの詳細情報をご参照ください。</p> <p><JP288> JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1 —ネットワーク管理基盤—</p> <p><JPJ289/JPJ289T> JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2 —システムリソース管理—</p> <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(ネットワーク管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、最新のバージョンに対応します。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行ないます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 	<p>JP288 JP1</p>  <p>JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1 —ネットワーク管理基盤—</p> <p>2日間</p> <p>ネットワーク接続機器の監視、管理を行うJP1/Network Node Manager i (JP1/NNMi)製品の機能について、マシン実習を通して学習します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> JP1/NNMiのシステム構成と基本機能を説明できる。 JP1/NNMiのインストール後のセットアップができる。 監視環境の構築(検出、ポーリング設定)ができる。 インシデントの管理ができる。 <p>対象者</p> <p>JP1/NNMiを使用したネットワーク管理、システム構築を行う方。</p> <p>前提知識</p> <p>「ネットワーク基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。「ネットワーク管理概説と演習」コースを修了しているか、ネットワーク管理プロトコルであるSNMPに関する知識があること。</p> <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> JP1によるネットワーク管理の概要 <ol style="list-style-type: none"> (1)JP1によるネットワーク管理 (2)ネットワーク管理オプション製品 (3)JP1/NNMiを使ったネットワーク管理の概要 セットアップ <ol style="list-style-type: none"> (1)システム構成 (2)ユーザーアカウントの作成 (3)通信の基本設定 監視対象の登録 <ol style="list-style-type: none"> (1)ノードの登録 (2)管理モード (3)ノードグループの作成 障害監視・性能監視 <ol style="list-style-type: none"> (1)障害監視の動作 (2)監視設定 (3)性能情報の利用 インシデント管理 <ol style="list-style-type: none"> (1)インシデントの監視 (2)インシデントへの対応 (3)インシデント管理の設定 <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(ネットワーク管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、最新のバージョンに対応します。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行ないます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 <p><JP1> JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1 —ネットワーク管理基盤—</p> <p><JP1> JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2 —システムリソース管理—</p> <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(ネットワーク管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、最新のバージョンに対応します。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行ないます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。

<p>JPV289 JP1</p>  <p>JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2 —システムリソース管理— 【バーチャル・クラスルーム】</p> <p>1日間</p> <p>到達目標 • JP1/SSOのシステム構成と基本機能を説明できる。 • JP1/SSOのインストールができる。 • システムリソースの参照、収集設定ができる。 • プロセスリソースの状態監視、監視設定ができる。 • JP1/NNMiとの連携設定ができる。</p> <p>対象者 • JP1/SNMP System Observer(JP1/SSO)を使用してサーバーのリソース管理、プロセス管理を行う方。 • JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。</p> <p>前提知識 「JP1プロフェッショナルネットワーク管理1—ネットワーク管理基盤—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内容 1. JP1によるリソース管理の概要 2. セットアップ (1)システム構成 (2)監視マネージャー、監視サーバー、リモート操作端末のセットアップ (3)SSOコンソールのユーザ認証 3. システムリソース管理 (1)システムリソースの収集、参照 (2)レポート機能 4. プロセスおよびサービス監視 (1)監視設定、状態参照</p> <p>備考 • このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(ネットワーク管理)」資格に準拠したコースです。 • このコースは、最新のバージョンに対応します。 • マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 • このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 • 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 • JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。</p>	<p>JPV290 JP1</p>  <p>JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース 【バーチャル・クラスルーム】</p> <p>3日間</p> <p>ネットワーク接続管理の監視、管理を行うJP1/Network Node Manager i(JP1/NNMi)製品の機能について、マシン実習を通して学習します。また、JP1/SNMP System Observer(JP1/SSO)を使用したサーバーのリソース管理、プロセス監視の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。</p> <p>●このコースは、セットコースのご案内となります。各コースの詳細情報をご参照ください。</p> <p><JPV288> JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1 —ネットワーク管理基盤—【バーチャル・クラスルーム】</p> <p><JPV289> JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2 —システムリソース管理—【バーチャル・クラスルーム】</p> <p>備考 • このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(ネットワーク管理)」資格に準拠したコースです。 • このコースは、最新のバージョンに対応します。 • マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 • このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 • 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 • JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。</p>	<p>JP291 JP1</p>  <p>JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1 —資産管理編—</p> <p>1日間</p> <p>JP1/IT Desktop Management2(JP1/ITDM2)を使用した資産管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。</p> <p>到達目標 • コンピュータなどの機器の状態を把握してメンテナンスができる。 • ハードウェア資産やソフトウェアのライセンス過不足の状況を把握できる。</p> <p>対象者 • JP1/IT Desktop Management 2(JP1/ITDM2)を使用してコンピュータの資産管理を実施する方。 • JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。</p> <p>前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。</p> <p>内容 1. 資産管理の概要 2. JP1/ITDM2の導入 3. 機器管理 4. リモートコントロール 5. 資産管理 6. Asset Console</p> <p>備考 • このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(資産・配布管理)」資格に準拠したコースです。 • このコースは、最新のバージョンに対応します。 • マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 • このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 • 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 • JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。</p>
<p>JP292 JP1</p>  <p>JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 2 —セキュリティ管理編—</p> <p>1日間</p> <p>JP1/IT Desktop Management 2(JP1/ITDM2)を使用したセキュリティ管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。</p> <p>到達目標 セキュリティ状況の把握と対策を検討できる。</p> <p>対象者 • JP1/IT Desktop Management 2(JP1/ITDM2)を使用してコンピュータのセキュリティ管理を実施する方。 • JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。</p> <p>前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。</p> <p>内容 1. セキュリティ管理の概要 2. セキュリティポリシーの作成 3. セキュリティ状況の確認 4. 更新プログラムの管理 5. ネットワークの接続制御 6. スマートデバイス管理</p> <p>備考 • このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(資産・配布管理)」資格に準拠したコースです。 • このコースは、最新のバージョンに対応します。 • マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 • このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 • 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。</p>	<p>JP293/JP293T JP1</p>  <p>JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 3 —配布管理編—</p> <p>1日間</p> <p>JP1/IT Desktop Management 2(JP1/ITDM2)を使用した配布管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。</p> <p>到達目標 パッチやファイルをコンピュータに配布し、インストールできる。</p> <p>対象者 • JP1/IT Desktop Management 2(JP1/ITDM2)を使用してコンピュータの配布管理を実施する方。 • JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。</p> <p>前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。</p> <p>内容 1. 配布管理の概要 2. リモートインストールマネージャを利用した配布 3. ITDM互換配布</p> <p>備考 • このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(資産・配布管理)」資格に準拠したコースです。 • このコースは、最新のバージョンに対応します。 • マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 • このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 • 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 • このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 コースコード：JPJ293(研修のみ) コースコード：JPJ293T(試験付) • 試験付コースは、研修終了後にJP1試験を行います。 • 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 • JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。</p>	<p>JP294/JP294T JP1</p>  <p>JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 セットコース</p> <p>3日間</p> <p>JP1/IT Desktop Management 2(JP1/ITDM2)を使用した資産管理、セキュリティ管理、配布管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。</p> <p>●このコースは、セットコースのご案内となります。各コースの詳細情報をご参照ください。</p> <p><JP291> JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1 —資産管理編—</p> <p><JP292> JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 2 —セキュリティ管理編—</p> <p><JP293/JP293T> JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 3 —配布管理編—</p> <p>備考 • このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(資産・配布管理)」資格に準拠したコースです。 • このコースは、最新のバージョンに対応します。 • マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 • このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 • 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 • このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 コースコード：JPJ294(研修のみ) コースコード：JPJ294T(試験付) • 試験付コースは、研修終了後にJP1試験を行います。 • 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 • JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。</p>

JPV291 JP1

 **JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1
-資産管理編-
【バーチャル・クラスルーム】**

JP1/IT Desktop Management 2(JP1/ITDM2)を使用した資産管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標 • コンピュータなどの機器の状態を把握してメンテナンスができる。
• ハードウェア資産やソフトウェアのライセンス過不足の状況を把握できる。

対象者 • JP1/IT Desktop Management 2(JP1/ITDM2)を使用してコンピュータの資産管理を実施する方。
• JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内容 1. 資産管理の概要
2. JP1/ITDM2の導入
3. 機器管理
4. リモートコントロール
5. 資産管理
6. Asset Console

備考 • このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(資産・配布管理)」資格に準拠したコースです。
• このコースは、最新のバージョンに対応します。
• マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
• このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
• 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。

JPV292 JP1

 **JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 2
-セキュリティ管理編-
【バーチャル・クラスルーム】**

JP1/IT Desktop Management 2(JP1/ITDM2)を使用したセキュリティ管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標 セキュリティ状況の把握と対策を検討できる。

対象者 • JP1/IT Desktop Management 2(JP1/ITDM2)を使用してコンピュータのセキュリティ管理を実施する方。
• JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内容 1. セキュリティ管理の概要
2. セキュリティポリシーの作成
3. セキュリティ状況の確認
4. 更新プログラムの管理
5. ネットワークの接続制御
6. スマートデバイス管理

備考 • このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(資産・配布管理)」資格に準拠したコースです。
• このコースは、最新のバージョンに対応します。
• マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
• このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
• 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。

JPV293 JP1

 **JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 3
-配布管理編-
【バーチャル・クラスルーム】**

JP1/IT Desktop Management 2(JP1/ITDM2)を使用した配布管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標 パッチやファイルをコンピュータに配布し、インストールできる。

対象者 • JP1/IT Desktop Management 2(JP1/ITDM2)を使用してコンピュータの配布管理を実施する方。
• JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内容 1. 配布管理の概要
2. リモートインストールマネージャを利用した配布
3. ITDM互換配布

備考 • このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(資産・配布管理)」資格に準拠したコースです。
• このコースは、最新のバージョンに対応します。
• マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
• このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
• 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
• JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JPV294 JP1

 **JP1プロフェッショナル 資産・配布管理
セットコース
【バーチャル・クラスルーム】**

JP1/IT Desktop Management 2(JP1/ITDM2)を使用した資産管理、セキュリティ管理、配布管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。

●このコースは、セットコースのご案内となります。
各コースの詳細情報をご参照ください。

<JPV291>
JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1
-資産管理編-【バーチャル・クラスルーム】

<JPV292>
JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 2
-セキュリティ管理編-【バーチャル・クラスルーム】

<JPV293>
JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 3
-配布管理編-【バーチャル・クラスルーム】

備考 • このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(資産・配布管理)」資格に準拠したコースです。
• このコースは、最新のバージョンに対応します。
• マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
• このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
• 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
• JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JPV295 JP1

 **JP1プロフェッショナル セキュリティ管理
【バーチャル・クラスルーム】**

JP1/秘文を使用したセキュリティ管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標 • JP1/秘文のシステム構成と基本機能を説明できる。
• JP1/秘文のインストールとセットアップができる。
• 秘文DCによる持ち出し/読み込み制御の操作ができる。
• 秘文DEによるHD、リムーバブルディスク、ファイルの暗号化の操作ができる。
• 秘文Serverの設定と操作ができる。

対象者 • JP1/秘文を使用してセキュリティ管理を行う方。
• JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 セキュリティの基礎知識があり、かつMicrosoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内容 1. JP1/秘文の概要
2. 秘文DC、秘文Serverの主要機能
3. 秘文DEの主要機能
4. 秘文DE(FS)、秘文Server(ファイルサーバ)の主要機能
5. 秘文Server(秘文LM)
6. 秘文DPの主要機能

備考 • このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(セキュリティ管理)」資格に準拠したコースです。
• このコースは、最新のバージョンに対応します。
• マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
• このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
• 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
• JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JPV287 JP1

 **JP1プロフェッショナル バックアップ管理
【バーチャル・クラスルーム】**

JP1/VERITAS NetBackupによるバックアップ管理機能を理解し、その使い方を、マシン実習を通して学習します。

到達目標 • JP1/VERITAS NetBackupの主な機能を説明できる。
• JP1/VERITAS NetBackupのシステム構成を説明できる。
• JP1/VERITAS NetBackupのインストールと環境設定ができる。
• バックアップジョブとリストアジョブを作成し実行できる。

対象者 • JP1/VERITAS NetBackupを使用してバックアップ管理を行う方。
• JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。また、一般的なバックアップの基礎知識があること。

内容 1. JP1/VERITAS NetBackupの概要
(1)バックアップとリストアの基礎知識
(2)JP1/VERITAS NetBackupの製品概要
(3)JP1/VERITAS NetBackupのシステム構成
2. インストールと環境設定
(1)JP1/VERITAS NetBackupのインストール
(2)JP1/VERITAS NetBackupの環境設定
3. バックアップとリストア
(1)JP1/VERITAS NetBackupによるデータのバックアップ
(2)JP1/VERITAS NetBackupによるデータのリストア
4. 高度なバックアップ

備考 • このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(バックアップ管理)」資格に準拠したコースです。
• このコースは、最新のバージョンに対応します。
• マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
• このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
• 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
• JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JPV296 JP1

 レクチャ
1日間

JP1コンサルタント 統合管理【バーチャル・クラスルーム】

JP1統合管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を学習します。

到達目標 JP1統合管理製品の導入・構築のための設計ができる。

対象者 • JP1統合管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方。
• JP1認定コンサルタント資格(統合管理)の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル統合管理1—システム監視ー」および「JP1プロフェッショナル統合管理2—システム設定ー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. JP1による運用管理システムの構築工程
2. 想定する顧客システムの構成
3. 要件定義
4. 設計
5. 構築作業
6. 運用に向けて
7. 障害事例

備考 • このコースは、「JP1認定コンサルタント(統合管理)」資格に準拠したコースです。
• このコースは、最新のバージョンに対応します。
• このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
• 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
• JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JPV297 JP1

 レクチャ
1日間

JP1コンサルタント パフォーマンス管理【バーチャル・クラスルーム】

JP1パフォーマンス管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を学習します。

到達目標 JP1パフォーマンス管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を修得できる。

対象者 • JP1パフォーマンス管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方。
• JP1認定コンサルタント(パフォーマンス管理)資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナルパフォーマンス管理」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. パフォーマンス管理の導入事例
2. 想定するお客様とシステムの概要
3. 稼働監視システムの運用サイクル
4. 稼働監視システムの設計
5. 環境構築
6. 運用に向けた留意事項
7. 他のJP1製品との連携
8. 障害事例

備考 • このコースは、「JP1認定コンサルタント(パフォーマンス管理)」資格に準拠したコースです。
• このコースは、最新のバージョンに対応します。
• このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
• 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
• JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JPV298 JP1

 レクチャ
1日間

JP1コンサルタント ジョブ管理ーシステム設計編一【バーチャル・クラスルーム】

JP1/AJS3を中心としたジョブ設計、運用設計に関する知識を学習します。要件の確認からシステム設計、ジョブ運用までの一連の流れを学習します。

到達目標 JP1/AJS3を中心としたジョブ設計、運用設計に関する知識を修得できる。

対象者 • JP1ジョブ管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方。
• JP1コンサルタント資格(ジョブ管理)をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナルジョブ管理1—ジョブ定義・監視ー」および「JP1プロフェッショナルジョブ管理2—システム設定・運用管理ー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. 顧客要件の確認
2. システム設計
3. JP1設計ポイント
4. トラブルシート

備考 • このコースは、「JP1認定コンサルタント(ジョブ管理)」資格に準拠したコースです。
• このコースは、最新のバージョンに対応します。
• このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
• 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。

JPV299 JP1

 レクチャ
1日間

JP1コンサルタント ジョブ管理一チューニング編一【バーチャル・クラスルーム】

JP1/AJS3を中心としたジョブ管理の性能設計・性能対策および移行について学習します。

到達目標 • 性能設計に必要な条件が説明できる。
• 性能向上的ための性能対策ができる。
• 移行の注意事項が説明できる。

対象者 • JP1ジョブ管理製品の導入・構築・運用において性能設計・性能対策および移行を行なう方。
• JP1認定コンサルタント資格(ジョブ管理)の取得をめざす方。

前提知識 「JP1コンサルタントジョブ管理ー構築・運用ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. 性能に関するチューニング
2. JP1/AJS3への移行
3. JP1/AJS3トラブル事例

備考 • このコースは、「JP1認定コンサルタント(ジョブ管理)」資格に準拠したコースです。
• このコースは、最新のバージョンに対応します。
• このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
• 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
• JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JPV301 JP1

 レクチャ
1日間

JP1コンサルタント ネットワーク管理【バーチャル・クラスルーム】

JP1ネットワーク管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を学習します。

到達目標 JP1ネットワーク管理製品の導入・構築のための設計ができる。

対象者 • JP1ネットワーク管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方。
• JP1認定コンサルタント資格(ネットワーク管理)の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナルネットワーク管理1—ネットワーク管理基盤ー」および「JP1プロフェッショナルネットワーク管理2—システムリソース管理ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. 想定するお客様環境例
2. 監視要件の整理
3. 各種設定の解説

備考 • このコースは、「JP1認定コンサルタント(ネットワーク管理)」資格に準拠したコースです。
• このコースは、最新のバージョンに対応します。
• このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
• 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
• JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JPV300 JP1

 レクチャ
1日間

JP1コンサルタント 資産・配布管理【バーチャル・クラスルーム】

JP1資産・配布管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を学習します。

到達目標 JP1資産・配布管理製品の導入・構築のための設計ができる。

対象者 • JP1資産・配布管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方。
• JP1認定コンサルタント資格(資産・配布管理)の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル資産・配布管理1、2、3」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. 設計
2. 構築
3. JP1製品との連携
4. 障害事例

備考 • このコースは、「JP1認定コンサルタント(資産・配布管理)」資格に準拠したコースです。
• このコースは、最新のバージョンに対応します。
• このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
• 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
• JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JP302  JP1 [日立パートナー様 限定コース] JP1セールスコーディネーター 1日間	JP1 [日立パートナー様 限定コース] JP1セールスコーディネーター 1日間	JP16  6時間 <eラーニング> JP1機能概説(Version 11)	JP17  12時間 <eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ!JP1/IM管理1 ーシステム監視-(Version 11)
<p>お客様に対して最適なシステムの提案、および価格の見積りができるセールススキルを学習します。</p> <p>到達目標 • JP1製品概要が説明できる。 • お客様の要望に対し製品を提案できる。 • JP1製品の価格見積りができる。</p> <p>対象者 お客様に対して最適なシステムの提案スキルを修得したい営業・SEの方。</p> <p>JP1認定セールスコーディネーター資格の取得をめざす方。</p> <p>前提知識 コンピュータの基礎知識があること。</p> <p>内容 1. JP1の基礎知識(JP1の特長、製品体系など) 2. JP1の製品概要(JP1各製品の紹介など) 3. 拡販ツールの紹介(拡販ツールとその活用場面など) 4. 見積もりの基礎知識(JP1製品の提供形態とライセンス体系など) 5. 提案する製品の特長と見積積方法 6. JP1認定セールスコーディネーター資格試験</p> <p>備考 このコースは、日立パートナー様限定で提供するものです。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 試験については、「日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/htc.html JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。 https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/jp01.html 認定試験の受験料は、受講料に含まれます。</p>	<p>すべての運用管理分野におけるJP1製品の機能を学習します。</p> <p>到達目標 • JP1製品の特長が説明できる。 • 各管理製品にどのような製品があるか説明できる。 • 各管理の主要製品の主な機能を説明できる。</p> <p>対象者 JP1製品の導入を検討する方。 JP1のシステム構築・販売をする方。</p> <p>前提知識 オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語をご存知のこと。</p> <p>内容 1. JP1の基礎知識 2. オートメーション 3. モニタリング 4. コンプライアンス 5. 修了試験(JP1認定資格試験ではありません)</p> <p>備考 • 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。 このコースは、JP1 Version 11対応です。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者のE-Mailアドレスが必須となります。</p>	<p>JP1/Integrated Management(JP1/IM)を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。</p> <p>到達目標 • JP1製品の特長が説明できる。 • 各管理製品にどのような製品があるか説明できる。 • 各管理の主要製品の主な機能を説明できる。</p> <p>対象者 JP1製品の導入を検討する方。 JP1のシステム構築・販売をする方。</p> <p>前提知識 オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語をご存知のこと。</p> <p>内容 1. 統合管理の全体像 2. システム監視 (1)システム監視の基本操作 (2)線と矢印でイベントの表示抑止 (3)フィルターによるJP1イベントの絞り込み 3. システム障害の検知 (1)自動アクション (2)ローカルアクション (3)重要イベントページ (4)ビジュアル監視 (5)監視リレー 4. システム障害の調査・対処 (1)ガイド情報の表示 (2)メモ情報の設定 (3)コマンド実行 5. 修了試験(JP1認定資格試験ではありません)</p> <p>備考 • サービス有効期間は21日間です。 【お申込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必要です) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf ・このコースは、JP1 Version 11対応です。 ・このコースには、資格認定試験はありません。 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・このコースは、「JP1プロフェッショナル 統合管理1-システム監視-(Version 11)」コース(集合研修)と同等内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。</p>	<p>JP1/Integrated Management(JP1/IM)を利用して、企業情報システムの統合管理を行なう方法を自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。</p> <p>到達目標 • セントラルコンソールとセントラルスコープの概要を説明できる。 • セントラルコンソール、セントラルスコープを使って事象監視ができる。 • イベント監視ページのカスタマイズができる。 • セントラルコンソールに表示するイベントの設定(フィルター設定)ができる。 • 自動アクションの設定ができる。 • 重要なイベントページのカスタマイズができる。 • 必要なイベントを検索できる。 • 他のJP1製品と連携したモーター起動と統合機能メニューを操作できる。 • コマンド実行の操作ができる。</p> <p>対象者 JP1/IMを使用してシステムを監視する方。</p> <p>前提知識 「JP1機能概説(Version 11)」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内容 1. 統合管理の全体像 2. システム監視 (1)システム監視の基本操作 (2)線と矢印でイベントの表示抑止 (3)フィルターによるJP1イベントの絞り込み 3. システム障害の検知 (1)自動アクション (2)ローカルアクション (3)重要イベントページ (4)ビジュアル監視 (5)監視リレー 4. システム障害の調査・対処 (1)ガイド情報の表示 (2)メモ情報の設定 (3)コマンド実行 5. 修了試験(JP1認定資格試験ではありません)</p> <p>備考 • サービス有効期間は21日間です。 【お申込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必要です) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースには、資格認定試験はありません。 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・このコースは、「JP1プロフェッショナル 統合管理1-システム監視-(Version 11)」コース(集合研修)と同等内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。</p>
<p>JP18</p>  JP1 <eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ!JP1/IM管理2 ーシステム設定-(Version 11) 12時間	<p>JP1/Automatic Job Management System 3(JP1/AJS3)の業務自動化定義や監視操作を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。</p> <p>到達目標 • インストールする上で必要な製品構成を説明できる。 認証サーバを構築し、JP1ユーザーを管理できる。 マネージャー・エージェントを構築できる。 ログファイル監視の設定ができる。 監視ツリーの作成やカスタマイズができる。 ビューアル監視の設定ができる。</p> <p>対象者 JP1/IMのシステム構築をする方。</p> <p>前提知識 【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ!JP1/IM管理1-システム監視-(Version 11)のeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内容 1. 統合管理の概要 2. 統合管理の導入 (1)インストール (2)IMデータベースの構築 (3)サービスの起動・終了 3. JP1イベントの集中管理設定 (1)構成管理設定 (2)JP1イベントの転送設定 (3)リモート監視構成管理の設定 4. ユーザー管理機能 (1)ユーザー認証の設定 (2)認証サーバの閉塞 (3)ユーザーマッピングの設定 5. 監視対象の設定 (1)アラーリングが発出するログの監視 (2)Windowsイベントログの監視 (3)リモート監視ホストのログ監視 (4)イベントストーム発生時のイベント転送抑止設定 6. 監視画面の設定 (1)セントラルスコープのセットアップ (2)監視ツリー画面の設定 (3)ビューアル監視画面の設定 7. 修了試験(JP1認定資格試験ではありません)</p> <p>備考 • サービス有効期間は21日間です。 【お申込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必要です) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースは、JP1 Version 11対応です。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースには、資格認定試験はありません。 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・このコースは、「JP1プロフェッショナル 統合管理2-システム設定-(Version 11)」コース(集合研修)と同等内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。</p>	<p>JP324</p>  JP1 <eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ!JP1/AJS3管理1 ージョブ定義・監視-(Version 11) 12時間	<p>JP1/Automatic Job Management System 3(JP1/AJS3)の業務自動化定義や監視操作を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。</p> <p>到達目標 • JP1/AJS3の機能概要が説明できる。 自動化する業務(ジョブグループ、ジョブネット、ジョブ)の定義ができる。 運用スケジュール(運用日・休業日、開始時刻、サイクルなど)の設定ができる。 業務を実行する条件(イベント監視、起動条件)の定義ができる。 ジョブネットの実行(即時、計画、確定)および監視(ジョブネット実行状況、結果、スケジュール運用状況)の操作ができる。</p> <p>対象者 JP1/AJS3を使用してシステム運用管理する方。 JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。</p> <p>前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。</p> <p>内容 1. JP1/AJS3の概要 2. 業務の自動化 (1)ジョブ定義 (2)即時実行登録 (3)ジョブ実行状況の監視 3. スケジュールに基づいた業務の自動運用 (1)カレンダー情報の設定 (2)スケジュール設定 (3)計画・確定実行登録 (4)実行スケジュールの確認 4. 特定の事象を契機とした業務の自動運用 (1)ファイル更新契機のジョブの実行 (2)起動条件の設定 5. 業務の実行監視 6. 修了試験(JP1認定資格試験ではありません)</p> <p>備考 • サービス有効期間は21日間です。 【お申込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必要です) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf ・このコースは、JP1 Version 11対応です。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースには、資格認定試験はありません。 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・このコースは、「JP1プロフェッショナル 統合管理1-システム監視-(Version 11)」コース(集合研修)と同等内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。</p>
<p>JP325</p>  JP1 <eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ!JP1/AJS3管理2 ーシステム設定・運用管理-(Version 11) 12時間	<p>JP1/Automatic Job Management System 3(JP1/AJS3)のインストール・設定・運用に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。</p> <p>到達目標 • JP1/AJS3のインストールができる。 ・ジョブ実行環境のセドットアップができる。 JP1/AJS3を操作するユーザー情報の設定ができる。 JP1/AJS3ジョブ・ラーサービスの分割および参照制限ができる。 実行エージェントや接続元ホストでのジョブ実行の制限ができる。 JP1ユーザーの同時接続制限ができる。 ジョブネットの定義の退避・回復・運用状況監視の操作ができる。 運用中のジョブネットの変更ができる。</p> <p>対象者 JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理する方。 JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。</p> <p>前提知識 「JP1プロフェッショナルジョブ管理1-ジョブ定義・監視-(Version 11)」コース(eラーニングコース)を修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内容 1. JP1/AJS3のインストール (1)JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View 2. ジョブ実行環境の設定 (1)エージェント・管理機能の設定 3. コーザー・管理機能の設定 (1)JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザー・マッピング 4. JP1/AJS3システムの運用 (1)接続エージェント・ラーサービス (2)スケジュール・ラーサービス参照制限 (3)実行エージェントの制限 (4)同時接続数制限 5. ジョブネットの運用 (1)ジョブネットの退避・回復 (2)運用中のジョブネット変更 (3)運用状況の監視 6. 修了試験(JP1認定資格試験ではありません)</p> <p>備考 • サービス有効期間は21日間です。 【お申込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必要です) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf ・このコースは、JP1 Version 11対応です。 ・JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 このコースは、「JP1プロフェッショナルジョブ管理1-ジョブ定義・監視-(Version 11)」コース(集合研修)と同等内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないよう注意ください。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者のE-Mailアドレスが必須となります。</p>	<p>JP325</p>  JP1 <eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ!JP1/AJS3管理2 ーシステム設定・運用管理-(Version 11) 12時間	<p>JP1/Automatic Job Management System 3(JP1/AJS3)のインストール・設定・運用に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。</p> <p>到達目標 • JP1/AJS3のインストールができる。 ・ジョブ実行環境のセドットアップができる。 JP1/AJS3を操作するユーザー情報の設定ができる。 JP1/AJS3ジョブ・ラーサービスの分割および参照制限ができる。 実行エージェントや接続元ホストでのジョブ実行の制限ができる。 JP1ユーザーの同時接続制限ができる。 ジョブネットの定義の退避・回復・運用状況監視の操作ができる。 運用中のジョブネットの変更ができる。</p> <p>対象者 JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理する方。 JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。</p> <p>前提知識 「JP1プロフェッショナルジョブ管理1-ジョブ定義・監視-(Version 11)」コース(eラーニングコース)を修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内容 1. JP1/AJS3のインストール (1)JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View 2. ジョブ実行環境の設定 (1)エージェント・管理機能の設定 3. コーザー・管理機能の設定 (1)JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザー・マッピング 4. JP1/AJS3システムの運用 (1)接続エージェント・ラーサービス (2)スケジュール・ラーサービス参照制限 (3)実行エージェントの制限 (4)同時接続数制限 5. ジョブネットの運用 (1)ジョブネットの退避・回復 (2)運用中のジョブネット変更 (3)運用状況の監視 6. 修了試験(JP1認定資格試験ではありません)</p> <p>備考 • サービス有効期間は21日間です。 【お申込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必要です) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf ・このコースは、JP1 Version 11対応です。 ・JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 このコースは、「JP1プロフェッショナルジョブ管理1-ジョブ定義・監視-(Version 11)」コース(集合研修)と同等内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないよう注意ください。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者のE-Mailアドレスが必須となります。</p>

JP102 JP1

 **JP1/AJS3 エキスパート育成講座
一開発編
【バーチャル・クラスルーム】**

1日間

ジョブ管理(JP1/AJS)を使用した業務開発で困っていることを、業務開発のノウハウとお薦め機能を使って解決する方法を学習します。

到達目標

- ・ジョブ管理の業務設計・開発ノウハウを活用できる。
- ・効率的なテスト設計により、短期間でのテストができる。
- ・問題点や注意点を活かした移行ができる。
- ・メンテナンスしやすい業務設計・開発ができる。

対象者 JP1/AJS3(JP1/AJS2)を使用した業務開発(ジョブ定義)の課題に対して解決策を検討する方。

前提知識 日バージョンも含め「JP1プロフェッショナルジョブ管理1-ジョブ定義・監視」および「JP1プロフェッショナルジョブ管理2-システム設定・運用管理」コース/eラーニングコースを修了しているか、または、同等の知識があること。

内 容

1. 業務設計のコツ
2. 業務開発のコツ
3. テスト効率化のコツ
4. 業務移行のコツ

備考

- ・このコースは、最新のバージョンに対応します。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方でもご受講できます。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

JP103 JP1

 **JP1/AJS3 エキスパート育成講座
一運用編
【バーチャル・クラスルーム】**

1日間

ジョブ管理(JP1/AJS)を使用したシステム運用で困っていることを、運用のノウハウとお薦め機能を使って解決する方法を学習します。

到達目標

- ・ジョブ管理の本番適用／リリース時のノウハウを活用できる。
- ・業務運用および監視の便利な機能を活用できる。
- ・コンプライアンスを守るためにオペレータ負荷の軽減や操作ミスの防止ができる。
- ・カレンダー、スケジュールの設定、変更時の注意点を活用できる。

対象者 JP1/AJS3(JP1/AJS2)を使用したシステム運用(ジョブ定義)の課題に対して解決策を検討する方。

前提知識 日バージョンも含め「JP1プロフェッショナルジョブ管理1-ジョブ定義・監視」および「JP1プロフェッショナルジョブ管理2-システム設定・運用管理」コース/eラーニングコースを修了しているか、または、同等の知識があること。

内 容

1. 本番適用／リリースのコツ
2. 業務監視、操作のコツ
3. カレンダー／スケジュール運用のコツ
4. セキュアな運用設計のコツ

備考

- ・このコースは、最新のバージョンに対応します。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方でもご受講できます。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

JPE019 JP1

 **<eラーニング>【マシン演習付き】
ハンズオンで学ぶ!JP1/PFM
(Version 11)**

12時間

ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management(JP1/PFM)製品の機能について、自席PCから演習マシンに接続し、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- ・JP1/PFMのインストールとセットアップができる。
- ・パフォーマンスデータの収集ができる。
- ・レポート、アラームの作成、操作ができる。
- ・統合コンソールとの連携設定ができる。

対象者 JP1/PFMのシステム構築、稼働情報監視を行う方。

前提知識 オペレーティングシステムや各種サーバーの基礎的な知識があること。

内 容

1. アペイラビリティ管理の概要
2. JP1/PFMによる稼働情報の監視
3. JP1/PFMのシステム構築
4. 監視エージェントの設定
5. レポート定義
6. アラーム定義
7. 統合コンソールとの連携
8. 修了試験(JP1認定資格試験ではありません)

備考

- ・サービス有効期間は21日間です。
- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- ・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必要です)
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
- <https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf>
- ・このコースは、JP1 Version 10対応です。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・このコースには、資格認定試験はありません。
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・このコースは、旧「JP1プロフェッショナル 統合管理 2-システム監視」(Version 10)コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

JPE308 JP1

 **<eラーニング>【マシン演習付き】
ハンズオンで学ぶ!JP1/IM 管理 1
-システム監視-(Version 10)**

12時間

JP1/Integrated Management(JP1/IM)を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標

- ・セントラルコンソールとセントラルスコープの概要を説明できる。
- ・セントラルコンソール、セントラルスコープを使って事象監視ができる。
- ・イベント監視ページのカスタマイズができる。
- ・セントラルコンソールに表示するイベントの設定(フィルター設定)ができる。
- ・自動アクションの設定ができる。
- ・重要イベントページのカスタマイズができる。
- ・必要なイベントを検索できる。
- ・他のJP1製品と連携したモニター起動と統合機能メニューを探作できる。
- ・コマンド実行の操作ができる。

対象者 JP1/IMを使用してシステムを監視する方。

前提知識 JP1機能概説(Version 10)eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容

1. 統合管理の概要
2. システム監視
 - (1)イベントコンソール、監視ツリーによる監視
 - (2)フィルタ機能
3. システム障害の検知
 - (1)自動アクション
 - (2)重要イベント監視
4. システム障害の調査・対処
 - (1)ガイド機能
 - (2)イベント検索
 - (3)モニター起動
 - (4)統合機能メニュー
 - (5)コマンド実行
5. 修了試験(JP1認定資格試験ではありません)

備考

- ・サービス有効期間は21日間です。
- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- ・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必要です)
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
- <https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf>
- ・このコースは、JP1 Version 10対応です。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・このコースには、資格認定試験はありません。
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・このコースは、旧「JP1プロフェッショナル 統合管理 2-システム監視」(Version 10)コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

JPE309 JP1

 **<eラーニング>【マシン演習付き】
ハンズオンで学ぶ!JP1/IM 管理 2
-システム設定-(Version 10)**

12時間

JP1/Integrated Management(JP1/IM)のインストール、設定に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標

- ・インストールする上で必要な製品構成を説明できる。
- ・認証サーバを構築し、JP1ユーザーを管理できる。
- ・ユーザージャンクエリエントを構築できる。
- ・ログファイル監視の設定ができる。
- ・監視ツリーの作成やカスタマイズができる。
- ・ビジュアル監視の設定ができる。

対象者 JP1/IMのシステム構築をする方。

前提知識 「マシン演習付き」ハンズオンで学ぶ!JP1/IM管理1-システム監視-(Version 10)eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容

1. 統合管理の導入
 - (1)インストール
 - (2)IMデータベースの構築
2. イベントの集中管理
3. ユーザー管理機能
 - (1)ユーザー認証設定
 - (2)ユーザーマッピング設定
4. 監視対象の設定
 - (1)イベント変換設定
 - (2)リモート監視
5. 監視画面の設定
 - (1)監視ツリー設定
 - (2)ビジュアル監視画面設定
6. 修了試験(JP1認定資格試験ではありません)

備考

- ・サービス有効期間は21日間です。
- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- ・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必要です)
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
- <https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf>
- ・このコースは、JP1 Version 10対応です。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・このコースには、資格認定試験はありません。
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・このコースは、旧「JP1プロフェッショナル 統合管理 2-システム設定」(Version 10)コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

JPE310 JP1

 **<eラーニング>【マシン演習付き】
ハンズオンで学ぶ!JP1/PFM
(Version 10)**

12時間

ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management(JP1/PFM)製品の機能について、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標

- ・JP1/PFMのインストールとセットアップができる。
- ・パフォーマンスデータの収集ができる。
- ・レポート、アラームの作成、操作ができる。
- ・統合コンソールとの連携設定ができる。

対象者 JP1/PFMのシステム構築、稼働情報監視を行う方。

前提知識 オペレーティングシステムや各種サーバーの基礎的な知識があること。

内 容

1. アペイラビリティ管理の概要
2. JP1/PFMによる稼働情報の監視
3. JP1/PFMのシステム構築
4. 監視エージェントの設定
5. レポート定義
6. アラーム定義
7. 統合コンソールとの連携
8. 修了試験(JP1認定資格試験ではありません)

備考

- ・サービス有効期間は21日間です。
- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- ・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必要です)
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
- <https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf>
- ・このコースは、JP1 Version 10対応です。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・このコースには、資格認定試験はありません。
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・このコースは、旧「JP1プロフェッショナル アペイラビリティ管理(Version 10)」コース(集合研修)と同等内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

<p>JPE006 JP1</p>  <p><eラーニング> JP1機能概説(Version 10)</p> <p>6時間</p> <p>すべての運用管理分野におけるJP1製品の機能を学習します。</p> <p>到達目標 • JP1製品の特徴が説明できる。 • 各管理製品にどのような製品があるか説明できる。 • 各管理の主要製品の主な機能を説明できる。</p> <p>対象者 JP1製品の導入を検討する方、JP1のシステム構築・販売する方。</p> <p>前提知識 オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語について知識があること。</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. JP1の基礎知識 2. 統合管理 3. サービスレベル管理 4. アベイラビリティ管理 5. IT運用自動化 6. ジョブ管理 7. 資産・配布管理 8. セキュリティ管理 9. ネットワーク管理 10. ストレージ管理 11. 修了試験(JP1認定資格試験ではありません) <p>備考 • 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。 • 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です) • このコースは、JP1 Version 10対応です。 • このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 • このコースには、資格認定試験はありません。 • 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供します。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 • このコースは、旧「JP1エンジニア機能概説」(Version 10)コースと同等の内容です。 • このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 • お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</p>	<p>JPE311 JP1</p>  <p><eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ!JP1/AJS3 管理 1 —ジョブ定義・監視—(Version 10)</p> <p>12時間</p> <p>JP1/Automatic Job Management System 3(JP1/AJS3)の業務自動化定義や監視操作を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。</p> <p>到達目標 • 自動化する業務の定義、実行、監視操作ができる。 • 運用スケジュールの定義、実行、監視操作ができる。 • 実行条件の定義、実行、監視操作ができる。</p> <p>対象者 JP1/AJS3を使用した自動化業務の設定および、運用操作を行なう方。</p> <p>前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. JP1/AJS3の概要 2. 業務の自動化 <ol style="list-style-type: none"> (1)ジョブ定義 (2)即時実行登録 (3)ジョブ実行状況の監視 3. スケジュールに基づいた業務の自動運用 <ol style="list-style-type: none"> (1)カレンダー情報の設定 (2)スケジュール設定 (3)計画/確定実行登録 (4)実行スケジュールの確認 4. 特定の事象を契機とした業務の自動運用 <ol style="list-style-type: none"> (1)ファイル更新契機のジョブの実行 (2)起動条件の設定 5. 修了試験(JP1認定資格試験ではありません) <p>備考 • サービス有効期間は21日間です。 【お申し込み前に必ずご確認ください】 • 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です) • このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 • このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf • このコースは、JP1 Version 10対応です。 • このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 • このコースには、資格認定試験はありません。 • 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 • このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 • お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</p>	<p>JPE312 JP1</p>  <p><eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ!JP1/AJS3 管理 2 —システム設定・運用管理—(Version 10)</p> <p>12時間</p> <p>JP1/Automatic Job Management System 3(JP1/AJS3)のインストール、設定、運用に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。</p> <p>到達目標 • JP1/AJS3のインストールができる。 • エージェントの追加・変更ができる。 • JP1/AJS3を操作するためのユーザー情報(JP1ユーザー、資源グループ別権限レベル、ユーザー・マッピング)の設定ができる。 • JP1/AJS3のバックアップとリカバリーができる。 • ジョブネットの定義の退避・回復、運用状況監視の操作ができる。 • 運用中のジョブネットの変更(ジョブネット変更・リリース管理)ができる。</p> <p>対象者 JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方。</p> <p>前提知識 「ハンズオンで学ぶ!JP1/AJS3管理 1—ジョブ定義・監視—(Version 10)eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. JP1/AJS3のインストール <ol style="list-style-type: none"> (1)JP1/Base, JP1/AJS3-Manager, JP1/AJS3-View 2. ジョブ実行環境の設定 <ol style="list-style-type: none"> (1)エージェント管理機能の設定 3. ユーザー管理機能の設定 <ol style="list-style-type: none"> (1)JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザー・マッピング 4. ジョブネットの運用 <ol style="list-style-type: none"> (1)ジョブネット定義の退避・回復 (2)運用状況の監視 (3)運用中のジョブネット変更 5. システムのバックアップとリカバリー <ol style="list-style-type: none"> (1)JP1/Base, JP1/AJS3のバックアップ、リカバリー (2)JP1/AJS3データベースのバックアップ、リカバリー 6. 修了試験(JP1認定資格試験ではありません) <p>備考 • サービス有効期間は21日間です。 【お申し込み前に必ずご確認ください】 • 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です) • このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 • このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf • このコースは、JP1 Version 10対応です。 • このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 • このコースには、資格認定試験はありません。 • 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 • このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 • お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</p>
--	---	---

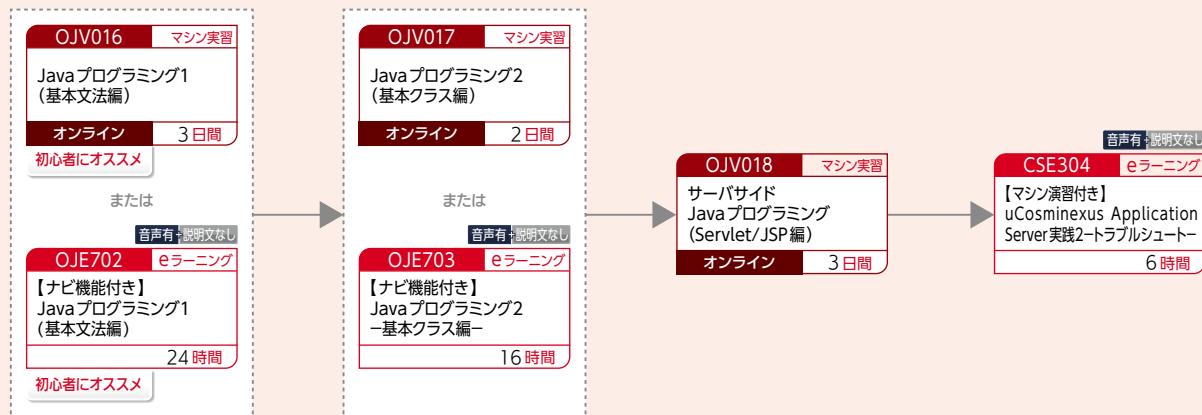
uCosminexus Application Server

uCosminexus Application Serverを使用したアプリケーション開発やシステム構築を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

● uCosminexus Application Serverの設計・構築・運用をする方



● uCosminexus Application Serverを使用してWebアプリケーションの開発をする方



● uCosminexus Application Serverを使用したWebシステムの性能設計・性能対策をする方



※下記集合研修のコースについてお問い合わせがある場合は、日立オープンミドルウェア技術者認定センターまでご連絡願います。
 「CSJ017 uCosminexus Application Server入門ー構築基礎ー」
 「CSJ018 uCosminexus Application Server実践1ー設計・構築ー」

【日立オープンミドルウェア技術者認定センター問い合わせ窓口】
https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/it/soft/cert_contact/form.jsp

音声有り説明文有り：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有り説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし説明文有り：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

CSE302	uCosminexus Application Server
 eラーニング	<eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 入門 —構築基礎—
6時間	
uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの構築手法を学習します。uCosminexus Application ServerのインストールからWebシステムの構築までを扱います。	
到達目標	uCosminexus Application Serverの機能概要を説明できる。 uCosminexus Application Serverを用いて基本的な構成のWebシステムを構築できる。
対象者	uCosminexus Application Serverを用いてWebシステムを構築する方、uCosminexus Application Serverの導入を検討している方。
前提知識	Webアプリケーションに関する基礎知識があり、かつMicrosoft Windowsの基本的な操作経験があること。
内容	1. アプリケーションサーバー概要 2. uCosminexus Application Serverシステム構築の流れ 3. uCosminexus Application Serverのインストール 4. セットアップワーカーを用いたシステム構築 5. 運用管理ポータルを用いた操作・設定 6. 修了試験
備考	・サービス有効期間は21日間です。 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf ・このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・このコースは、集合研修「uCosminexus Application Server 入門—構築基礎—」コース(CSJ017)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。 ・このコースは、「【マシン演習付き】<eラーニング>Cosminexusエンジニア アプリケーションサーバーシステム構築基礎」コースの名称を変更したものです。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者のE-Mailアドレスが必須となります。

CSE303	uCosminexus Application Server
 eラーニング	<eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 実践1 —設計・構築—
12時間	
uCosminexus Application Serverを用いたシステムの設計・構築・運用に必要なノウハウを学習します。	
到達目標	・要件にあった運用方法や信頼性確保手順を説明できる。 ・システム構築に使用するパラメータを設計できる。 ・システムの構築・運用ができる。
対象者	uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの設計・構築をする方。
前提知識	【マシン演習付き】uCosminexus Application Server 入門—構築基礎—eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。さらにWebシステムの構築または運用に携わった経験があること。
内容	1. 作業概要とシステム基本構成 2. システム基本設計 3. システム詳細設計 4. システム構築 5. 修了試験
備考	・サービス有効期間は21日間です。 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf ・このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・このコースは、集合研修「uCosminexus Application Server 実践 1—設計・構築—」コース(CSJ018)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者のE-Mailアドレスが必須となります。

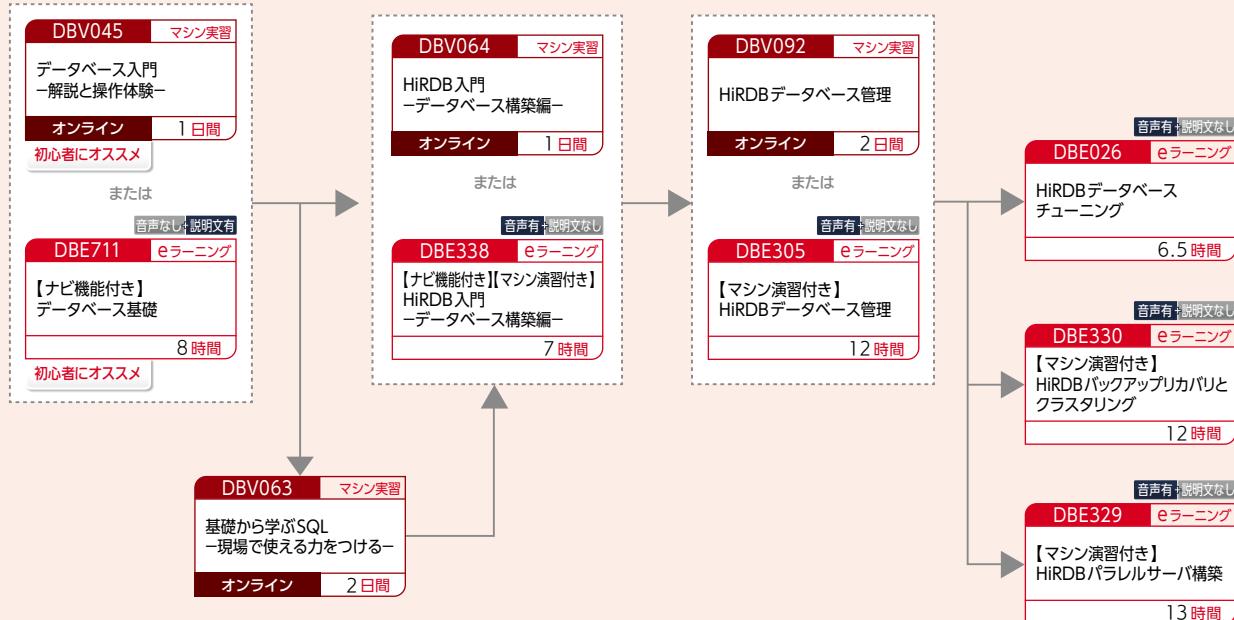
CSE304	uCosminexus Application Server
 eラーニング	<eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 実践2 —トラブルシュート—
6時間	
uCosminexus Application Serverを用いたシステムのトラブルシュートについて学習します。トラブルが発生したときの対処法を理解できます。	
到達目標	・トラブルシュートの流れを説明できる。 ・代表的なトラブルについて、原因を切り分けることができる。
対象者	uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの障害対応をする方、JavaEEアプリケーションの開発をする方。
前提知識	【マシン演習付き】uCosminexus Application Server 実践1—設計・構築—eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。さらにJavaEEアプリケーション開発に携わった経験があること。
内容	1. トラブルシュートの概要 2. トラブルシュート手順 3. 代表的なトラブルの原因分け方法 4. 修了試験
備考	・サービス有効期間は21日間です。 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf ・このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・このコースは、旧「uCosminexus Application Server 実践 2—トラブルシュート—」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者のE-Mailアドレスが必須となります。

CSE001	uCosminexus Application Server
 eラーニング	<eラーニング> uCosminexus Application Server 実践3 —性能設計・性能対策—
6時間	
uCosminexus Application Server を用いたWebシステムにおいて、要件を満たす性能設計、性能対策について学習します。	
到達目標	・性能設計と性能検証の関係について説明できる。 ・要件を満たす性能設計ができる。 ・ボトルネックの要因を分析し、性能対策ができる
対象者	uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの性能設計および性能対策をする方。
前提知識	【マシン演習付き】uCosminexus Application Server 実践1—設計・構築—」および【マシン演習付き】uCosminexus Application Server 実践2—トラブルシュート—eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. 性能設計と性能検証 2. 性能設計 3. 性能検証とチューニング 4. 修了試験
備考	・開始日からかわらず学習終了日は9月30日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です) ・このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。 ・このコースは、旧「uCosminexus Application Server 実践3—性能設計・性能対策—」コース(集合研修)をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者のE-Mailアドレスが必須となります。

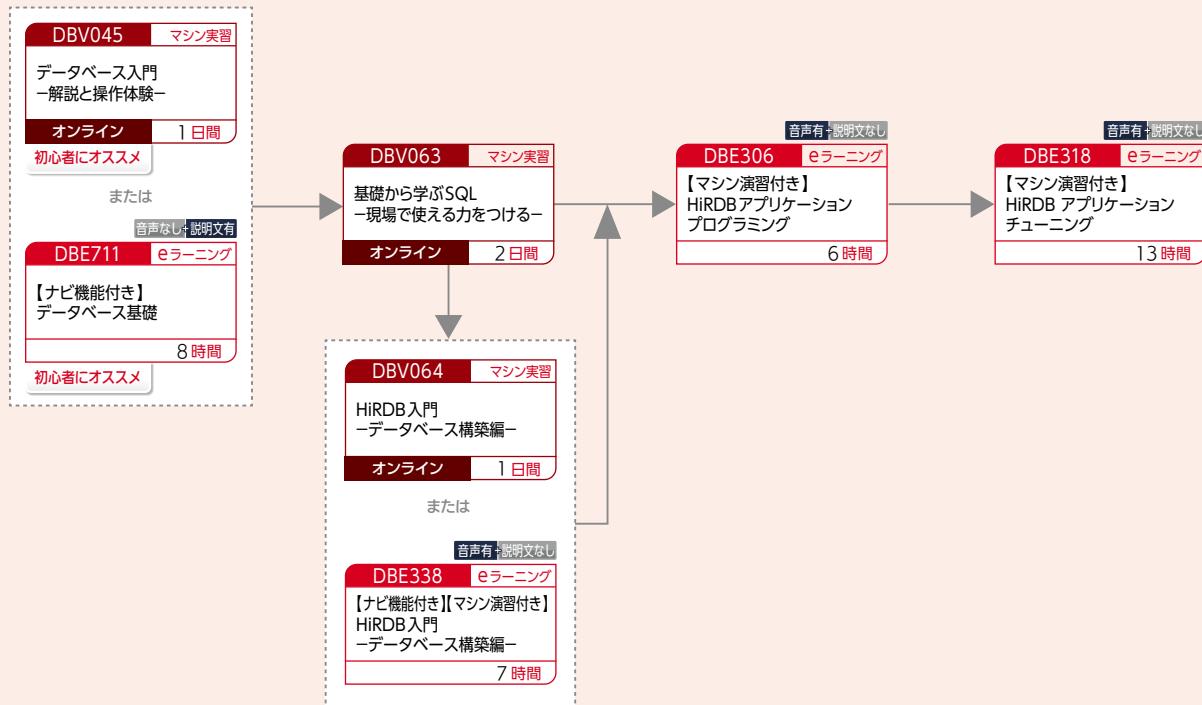
HiRDB

データベースマネジメントシステムであるHiRDBのシステム運用やアプリケーション開発を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

● HiRDBを使用してデータベースを構築・運用する方



● HiRDBにアクセスするアプリケーションプログラムを開発する方



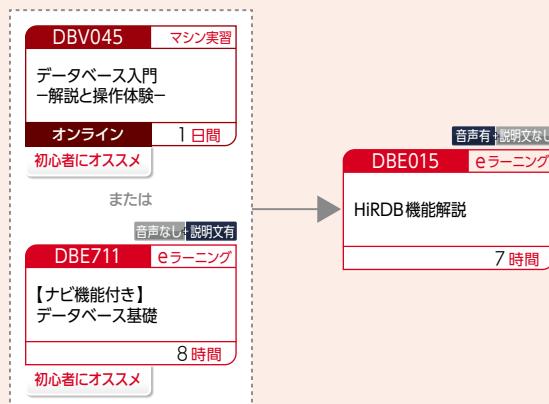
音声有・説明文有 : 説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）

音声なし・説明文有 : 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● HiRDBの機能概要を修得したい方



音声有・説明文有 : 説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）

音声なし・説明文有 : 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

<p>DBV064 HiRDB</p>  <p>マシン実習 1日間</p> <p>HiRDB入門データベース構築編－ 【バーチャル・クラスルーム】</p> <p>HiRDBを初めて使用するにあたって必要なHiRDBのアーキテクチャや、HiRDBにおけるユーザ・表・インデックスの概念、およびその定義方法に関する基礎知識を学習します。HiRDB講座の導入コースとしてお薦めです。</p> <p>到達目標 • HiRDBシステムのアーキテクチャの概要を理解し説明できる。 • 定義系SQLを用いて、HiRDB上にユーザ、スキーマ、テーブル、ビュー、インデックスを作成できる。</p> <p>対象者 HiRDBシステムの基礎的な知識を必要とする方、現在HiRDBの導入を検討している方。</p> <p>前提知識 「データベース入門－解説と操作体験－」コース、または【「ナビ機能付き」データベース基礎】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内容 1. HiRDBの概要 2. HiRDBインストール 3. HiRDB環境設定 4. HiRDBの開始と終了 5. ユーザの作成 6. スキーマの作成 7. 表の作成 8. インデックスの作成</p> <p>備考 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。</p>	<p>DBE338 HiRDB</p>  <p>eラーニング 7時間</p> <p><eラーニング> 【ナビ機能付き】[マシン演習付き] HiRDB入門データベース構築編－</p> <p>HiRDBを初めて使用するにあたって必要なHiRDBのアーキテクチャやHiRDBにおけるユーザ・表・インデックスに関する基礎知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。HiRDB講座の導入コースとしてお薦めです。</p> <p>到達目標 • HiRDBシステムのアーキテクチャの概要を理解し説明できる。 • 定義系SQLを用いて、HiRDB上にユーザ、スキーマ、テーブル、ビュー、インデックスを作成できる。</p> <p>対象者 ITエンジニア職、若手・中堅のHiRDB初学者の方で、データベース構築を基礎から学習したい方。</p> <p>前提知識 「データベース入門－解説と操作体験－」コース、または【「ナビ機能付き」データベース基礎】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内容 1. HiRDBの概要 2. HiRDBのインストール 3. HiRDBの環境設定 4. HiRDBの開始と終了 5. ユーザの作成 6. スキーマの作成 7. 表の作成 8. インデックスの作成 9. 修了試験</p> <p>備考 • サービス有効期間は21日間です。 【お申し込み前に必ずご確認ください】 - 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です) - このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 - このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf - 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 - このコースは、「HiRDB入門データベース構築－」コースと同一内容です。 - このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 - お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</p>	<p>DBE015 HiRDB</p>  <p>eラーニング 7時間</p> <p><eラーニング>HiRDB機能解説</p> <p>HiRDBの特長、システム構成およびデータベース活用のための各種機能について学習します。</p> <p>到達目標 • HiRDBシステムのアーキテクチャの概要を理解し説明できる。 • HiRDBシステムの各種機能の概要を理解し説明できる。</p> <p>対象者 HiRDBシステムの設計・運用を行う方、HiRDBシステムの導入を検討している方。</p> <p>前提知識 「データベース入門－解説と操作体験－」コース、または【「ナビ機能付き」データベース基礎】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内容 1. 並列データベースの技術 2. HiRDBの概要 3. データベースの構造 4. HiRDBの各種機能 5. 修了試験</p> <p>備考 • 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。 - 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です) - このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 - お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</p>
<p>DBV092 HiRDB</p>  <p>マシン実習 2日間</p> <p>HiRDBデータベース管理 【バーチャル・クラスルーム】</p> <p>HiRDBのデータベース物理設計から環境構築、定期的な運用(バックアップ/リカバリ、再編成、セキュリティ等)など、データベース管理者として必要な基礎知識を学習します。</p> <p>到達目標 • HiRDBシステムの設計を行える。 • HiRDBのコマンドを用いてHiRDBシステムを構築できる。 • HiRDBシステムの基本的な管理作業の概要を理解し説明できる。</p> <p>対象者 HiRDBのデータベース管理者としての基礎的な知識を必要とする方。</p> <p>前提知識 「基礎から学ぶSQL－現場で使える力をつける－」コースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内容 1. HiRDBのアーキテクチャ 2. 構築と運用要件の確認 3. データベース設計 4. データベース構築 5. データベースセキュリティ 6. データベースの運用と保守 7. トラブルシューティング</p> <p>備考 このコースは、「HiRDBプラットフォームエンジニア－データベース管理－」コースの名称を変更したもの。</p>	<p>DBE305 HiRDB</p>  <p>eラーニング 12時間</p> <p><eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDBデータベース管理</p> <p>HiRDBのデータベース物理設計から環境構築、定期的な運用(バックアップ/リカバリ、再編成、セキュリティ等)など、データベース管理者として必要な基礎知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。</p> <p>到達目標 • HiRDBシステムの設計を行える。 • HiRDBのコマンドを用いて、HiRDBシステムを構築できる。 • HiRDBシステムの基本的な管理作業の概要を理解し説明できる。</p> <p>対象者 HiRDBのデータベース管理者としての基礎的な知識を必要とする方。</p> <p>前提知識 「基礎から学ぶSQL－現場で使える力をつける－」コースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内容 1. HiRDBのアーキテクチャ 2. 構築と運用要件の確認 3. データベース設計 4. データベース構築 5. データベースセキュリティ 6. データベースの運用と保守 7. トラブルシューティング 8. 修了試験</p> <p>備考 • サービス有効期間は21日間です。 【お申し込み前に必ずご確認ください】 - 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です) - このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 - このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf - 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 - このコースは、「HiRDB入門データベース構築－」コースと同一内容です。 - このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 - お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</p>	<p>DBE306 HiRDB</p>  <p>eラーニング 6時間</p> <p><eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDB アプリケーションプログラミング</p> <p>HiRDBにアクセスするアプリケーションを開発するために必要な知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。</p> <p>到達目標 各種アプリケーション開発技術を行い、HiRDBにアクセスするアプリケーションを作成できる。</p> <p>対象者 HiRDBにアクセスするアプリケーションを開発する方。</p> <p>前提知識 「基礎から学ぶSQL－現場で使える力をつける－」コースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内容 1. HiRDBのアーキテクチャ 2. HiRDBのアプリケーションプログラミング概要 3. 表のデータ型 4. アプリケーションプログラムの実装 5. スタンドアロジージャ、スタアドファンクションとトリガー 6. データベースセキュリティ 7. 修了試験</p> <p>備考 • サービス有効期間は21日間です。 【お申し込み前に必ずご確認ください】 - 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です) - このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 - このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf - 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 - このコースは、集合研修「HiRDBアプリケーションプログラミング」コース(DBJ093)と同等の内容です。 集合研修をご受講済みの方は、申し込みれないようご注意ください。 - このコースは、「【マシン演習付き】<eラーニング>HiRDBアプリケーションエンジニア－データベースプログラミング－」コースの名称を変更したものです。 - このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 - お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</p>

DBE026 HiRDB

 eラーニング
6.5時間

**<eラーニング>
HiRDBデータベースチューニング**

HiRDBを効率良く運用するために必要なパフォーマンス診断や、チューニング方法を学習します。

到達目標 HiRDBサーバ上の各種要素に対するパフォーマンス診断、チューニング方針を理解し、説明できる。

対象者 HiRDBのパフォーマンスチューニングの知識を必要とする方。

前提知識 「HiRDBデータベース管理」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. パフォーマンスチューニング概要
2. データベース設計
3. グローバルバッファのチューニング
4. ログバッファのチューニング
5. SQLオブジェクトバッファのチューニング
6. 修了試験

備考

- ・開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。
- ・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE318 HiRDB

 eラーニング
13時間

**<eラーニング>【マシン演習付き】
HiRDB アプリケーションチューニング**

HiRDBに適した処理効率の良い業務アプリケーションの開発技術や、アプリケーションのパフォーマンス診断およびチューニング方法を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標 應用的なSQLを用い、HiRDBを効率的に使用するための技術を実装できる。

- ・HiRDBに接続するアプリケーションの、パフォーマンス診断、チューニング作業を行える。

対象者 HiRDBにアクセスする処理効率の良いアプリケーションの開発技術を必要とする方。

前提知識 「マシン演習付き」HiRDBアプリケーションプログラミング」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. SQLコーディングテクニック
 - (1)応用的なSQL
 - (2)APの保守性/性能を高めるためのSQLの書き方
2. 排他制御
 - (1)排他制御の概要
 - (2)Isolationレベルの制御
 - (3)アッティック対策
3. アクセス効率の良いアプリケーションプログラムの作成
 - (1)アクセスパス
 - (2)SQLとインデックス
 - (3)SQL最適化
4. SQLチューニング
 - (1)統計情報の収集
 - (2)SQLチューニング
 - (3)HiRDB SQL Tuning Advisorを使用したSQLチューニング
 - (4)修了試験

備考

- ・サービス有効期間は21日間です。
- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- ・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf>
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・このコースは、集合研修「HiRDBアプリケーションチューニング」コース(DBJ095)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE330 HiRDB

 eラーニング
12時間

**<eラーニング>【マシン演習付き】
HiRDB/バックアップリカバリとクラスタリング**

HiRDBを安定して運用するための技術や、各種障害に応じたリカバリ方法およびクラスタリング(系切り替え)技術を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標 HiRDBシステムに対する各種バックアップ・リカバリ作業を行える。

- ・HiRDBシステムに対するクラスタリング技術の概要を理解し、説明できる。

対象者 HiRDB管理者として障害対策に関する知識を必要とする方。

前提知識 「HiRDBデータベース管理」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. バックアップリカバリとクラスタリングの概要
2. バックアップリカバリにあたっての基礎知識
3. データベースのバックアップ
4. データベースのリカバリ
5. システムファイルの障害対応
6. クラスタリングの概要
7. クラスタリング環境の構築と運用
8. 修了試験

備考

- ・サービス有効期間は21日間です。
- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- ・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・このコースは、集合研修「HiRDBアプリケーションチューニング」コース(DBJ095)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE329 HiRDB

 eラーニング
13時間

**<eラーニング>【マシン演習付き】
HiRDB/パラレルサーバ構築**

HiRDBパラレルサーバを使ったHiRDBシステムの構築や運用に必要な基礎知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標 HiRDBパラレルサーバシステムの物理設計ができる。

- ・HiRDBパラレルサーバシステムの構築ができる。
- ・HiRDBパラレルサーバシステムが持つ機能について理解し、説明できる。

対象者 HiRDBデータベース管理者としてHiRDBパラレルサーバシステムの構築に関する知識を必要とする方。

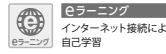
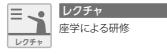
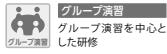
前提知識 「HiRDBデータベース管理」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. HiRDBパラレルサーバのアーキテクチャ
 - (1)HiRDBパラレルサーバの構成
 - (2)HiRDBパラレルサーバの特長
 - (3)HiRDBパラレルサーバの採用基準
2. 要件確認
 - (1)要件確認の目的
 - (2)項目の確認および調査
 - (3)BESとFESの配置方針と必要台数の見積り
 - (4)BES数見積もりに必要な項目の確認および調査
3. BESとFESの配置方針と必要台数の決定
 - (1)基本的なサーバの配置方針
 - (2)BESの配置および必要台数の決定
 - (3)FESの配置および必要台数の決定
4. リソースの配置方針と容量見積り
 - (1)リソースの配置方針
 - (2)容量見積り
5. データベース構築
 - (1)データベース構築手順
 - (2)サーバマシン環境・データベース環境の決定
 - (3)システム定義ファイルの作成
 - (4)HiRDBファイルシステム領域の作成
 - (5)システムファイルの作成
 - (6)RDエリートの作成とHiRDBシステムの開始
 - (7)表の定義
6. HiRDBパラレルサーバのその他の機能
 - (1)高性能を実現するHiRDBパラレルサーバの機能
 - (2)HiRDBパラレルサーバシステムにおけるHAクラスター
7. 修了試験

備考

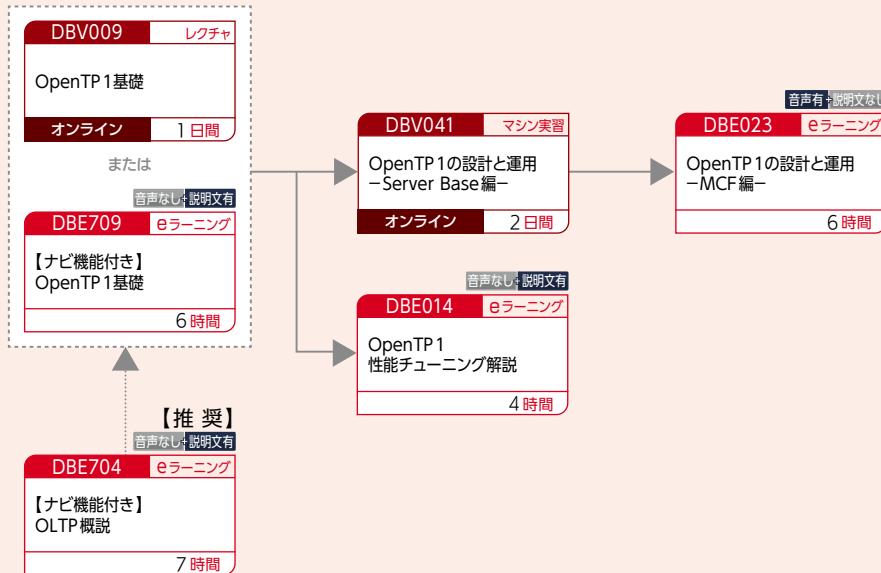
- ・サービス有効期間は21日間です。
- ・お申し込み前に必ずご確認ください。
- ・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf>
- ・マシン演習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。



OpenTP1

TPモニタであるOpenTP1システムの構築や運用、およびアプリケーションを開発するうえで必要となる知識と技術が修得できます。

● OpenTP1を使用してOLTPシステムを構築・運用・設計する方



音声有+説明文有 : 説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）

音声有+説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）

音声なし+説明文有 : 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

DBV009 OpenTP1

 レクチャ
1日間

OpenTP1基礎 【バーチャル・クラスルーム】

OLTPシステムの構築に必要なOLTPの基礎知識、およびTPモニタとしてのOpenTP1の役割、構成、機能を学習します。

到達目標

- トランザクションの定義を説明できる。
- OLTPを説明できる。
- OpenTP1の機能を説明できる。

対象者 OpenTP1システムを構築・管理する方、OpenTP1システムにアクセスするアプリケーションを開発する方。

前提知識 OS、データベースおよびネットワークの基礎知識があること。

内容

1. OLTPの基礎知識
 - (1) クライアントサーバシステム
 - (2) OLTPの基礎知識
 - (3) インターネット連携
2. OpenTP1の機能
 - (1) アプリケーション間の通信形態
 - (2) リモートプロジェクトコール(RPC)
 - (3) メッセージ送受信形態
 - (4) メッセージキューイング形態
 - (5) OpenTP1のプロセス制御
 - (6) トランザクション制御
3. OpenTP1の日常的な運用
 - (1) システムファイル
 - (2) OpenTP1の開始および終了

DBE0709 OpenTP1

 eラーニング
6時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】 OpenTP1基礎

OLTPシステムを構築するにあたり必要となるOLTPの基礎知識、およびTPモニタとしてのOpenTP1の役割、構成、機能について学習します。

到達目標

- トランザクションの特徴とOLTPについて理解し説明できる。
- OpenTP1の役割、構成、機能について理解し説明できる。

対象者 OpenTP1システムを構築および管理する方、OpenTP1システムにアクセスするアプリケーションを開発する方。

前提知識 「[ナビ機能付き]OLTP概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. OLTPの基礎知識
 - (1) クライアントサーバシステム
 - (2) OLTPの基礎知識
 - (3) OpenTP1の特徴
 - (4) インターネット連携
2. OpenTP1の機能
 - (1) アプリケーション間の通信形態
 - (2) リモートプロジェクトコール
 - (3) メッセージ送受信形態
 - (4) メッセージキューイング形態
 - (5) OpenTP1のプロセス制御
 - (6) トランザクション制御
 - (7) OpenTP1のソフトウェア製品
3. OpenTP1の日常的な運用
 - (1) システムファイル
 - (2) OpenTP1の運用
4. 修了試験

備考

- 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。
- 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBV041 OpenTP1

 マシン実習
2日間

OpenTP1の設計と運用 —Server Base編— 【バーチャル・クラスルーム】

OpenTP1によるOLTPシステムの構築に必要なOpenTP1のシステムの作成、運用方法を学習します。

到達目標

- OpenTP1のコマンドを用いOpenTP1システムを構築できる。
- OpenTP1システムの基本的な管理ができる。

対象者 OpenTP1システムを構築する方、OpenTP1システムを管理する方。

前提知識 「OpenTP1基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. OpenTP1の概要
2. OpenTP1システム構築
3. システムファイルの作成
4. システム定義の作成
5. リソースマネージャの登録
6. OpenTP1の運用
7. ユーザサーバの設定と運用
8. システムファイルの障害対策
9. OpenTP1クライアントの設定

DBE023 OpenTP1

 eラーニング
6時間

<eラーニング> OpenTP1の設計と運用 —MCF編—

MCFを使用するOpenTP1のシステムの作成、運用方法について学習します。

到達目標

- OpenTP1のコマンドを用い、MCFの機能を実装したOpenTP1システムを構築できる。
- MCFの機能を実装したOpenTP1システムの基本的な管理作業ができる。

対象者 OpenTP1システムを構築する方、OpenTP1システムを管理する方。

前提知識 「OpenTP1設計と運用—Server Base編—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. メッセージ送受信形態
2. OpenTP1システムの構築
3. ネットワークコミュニケーション定義の作成
4. OpenTP1の運用
5. 修了試験

備考

- 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE014 OpenTP1

 eラーニング
4時間

<eラーニング> OpenTP1性能チューニング解説

OpenTP1における性能見積の考え方と、さまざまな性能チューニング方法について学習します。

到達目標

- OpenTP1における性能見積の考え方を理解し説明できる。
- さまざまな性能チューニング方法を理解し説明できる。

対象者 OpenTP1システムを管理する方。

前提知識 「OpenTP1基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. OpenTP1の通信性能
2. OpenTP1のトランザクション性能
3. OpenTP1のプロセス・メモリ性能
4. OpenTP1の性能全般
5. 修了試験

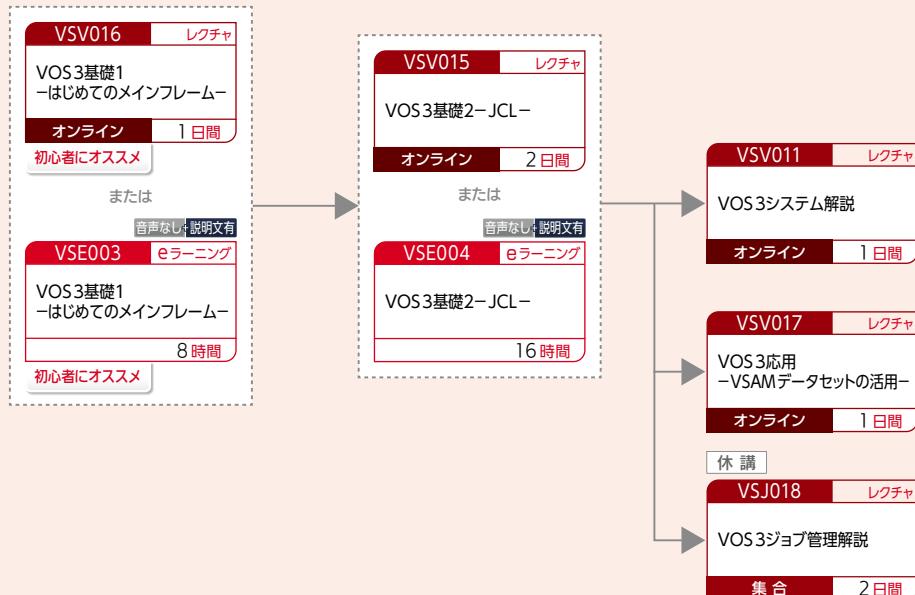
備考

- 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。
- 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

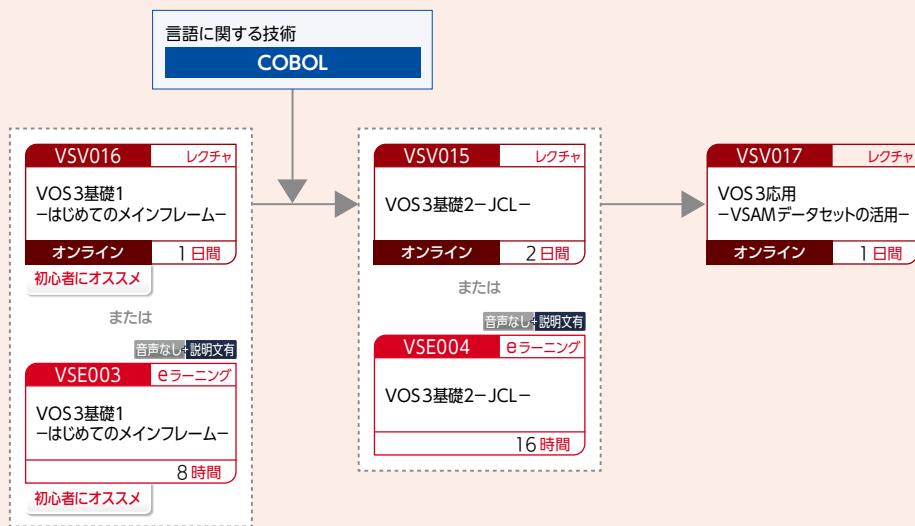
VOS3

日立メインフレーム OSであるVOS3の使用方法や機能、システム運用管理技術が修得できます。

● VOS3システムの運用設計および実装・運用する方



● VOS3システムでアプリケーションを開発する方



音声有・説明文有 : 説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）

音声なし・説明文有 : 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

<p>VSV016 VOS3</p> <p> レクチャ 16時間</p> <p><eラーニング> VOS3基礎2-JCLー</p> <p>VOS3システムでジョブの実行に必要な基本的なJCL(ジョブ制御文)や、システムメッセージリストの見方を学習します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JCL(ジョブ制御文)の役割を説明できる。 ・JOB文、EXEC文、DD文を使用してジョブ制御文を作成できる。 ・システムメッセージリストからジョブ実行に関する情報を読み取ることができる。 <p>対象者VOS3システムでJCL(ジョブ制御文)を使用したアプリケーション開発や運用を行う方、ジョブ制御文を基礎から学習したい方。</p> <p>前提知識「VOS3基礎1ーはじめてのメインフレームー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. JCL(ジョブ制御文)の役割 2. ジョブの実行過程 3. ジョブ制御文 <ol style="list-style-type: none"> (1)JOB文 (2)EXEC文 (3)DD文 4. システムメッセージリストの見方 5. 修了試験 <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。 ・説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です) ・このコースは、旧「VOS3使用法」コース(集合研修)、または「VOS3基礎2-JCLー」コース(VSJ015)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込みられないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 	<p>VSE011 VOS3</p> <p> レクチャ 1日間</p> <p>VOS3システム解説 【バーチャル・クラスルーム】</p> <p>VOS3システムを管理するために必要となるVOS3の基礎知識や機能を学習します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・VOS3システムの処理形態を説明できる。 ・仮想空間の構成について説明できる。 ・仮想空間と記憶装置(主記憶・補助記憶)の関係を説明できる。 ・TRUSTの機能について説明できる。 ・システム運用の自動化機能について説明できる。 <p>対象者VOS3システムを管理する方。</p> <p>前提知識「VOS3基礎2-JCLー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。VOS3の利用経験が2年以上あると、より理解が深まります。</p> <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. VOS3の概要 2. 各種処理形態 <ol style="list-style-type: none"> (1)パッチ (2)TSS (3)DB/DC 3. 仮想記憶装置のしくみ 4. データ処理の高速化機能 <ol style="list-style-type: none"> (1)LPAの利用 (2)XPL (3)VSAMHAF (4)VIO (5)SAMESF 5. セキュリティ管理機能(TRUST) 6. システム運用の自動化機能 <ol style="list-style-type: none"> (1)AOMPLUS (2)HOPSS3 (3)JP1との連携 	<p>VSV017 VOS3</p> <p> レクチャ 1日間</p> <p>VOS3応用 ーVSAMデータセットの活用ー<【バーチャル・クラスルーム】</p> <p>VOS3システムを管理、およびVOS3システムでアプリケーションプログラムを開発するうえで必要となるVSAMの基礎知識や機能を学習します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・VSAMデータセットの特長を説明できる。 ・VSAMユーティリティの機能を説明できる。 ・ライブラリ管理システム LIME E2の機能を説明できる。 ・カタログの役割、機能を説明できる。 <p>対象者VOS3システムの運用を行う方、VOS3システムでアプリケーションの開発を行なう方。</p> <p>前提知識「VOS3基礎2-JCLー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. データセットとディスクボリューム 2. VSAMデータセットの特長 3. ライブラリ管理システムLIMEE2の機能 4. データセットのカタログ機能 5. VSAMユーティリティの機能
<p>VSE004 VOS3</p> <p> レクチャ 16時間</p> <p><eラーニング> VOS3基礎2-JCLー</p> <p>VOS3システムでジョブの実行に必要な基本的なJCL(ジョブ制御文)や、システムメッセージリストの見方を学習します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JCL(ジョブ制御文)の役割を説明できる。 ・JOB文、EXEC文、DD文を使用してジョブ制御文を作成できる。 ・システムメッセージリストからジョブ実行に関する情報を読み取ることができる。 <p>対象者VOS3システムでJCL(ジョブ制御文)を使用したアプリケーション開発や運用を行う方、ジョブ制御文を基礎から学習したい方。</p> <p>前提知識「VOS3基礎1ーはじめてのメインフレームー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. JCL(ジョブ制御文)の役割 2. ジョブの実行過程 3. ジョブ制御文 <ol style="list-style-type: none"> (1)JOB文 (2)EXEC文 (3)DD文 4. システムメッセージリストの見方 5. 修了試験 <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。 ・説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です) ・このコースは、旧「VOS3使用法」コース(集合研修)、または「VOS3基礎2-JCLー」コース(VSJ015)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込みられないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 	<p>VSE003 VOS3</p> <p> レクチャ 8時間</p> <p><eラーニング>VOS3基礎1 ーはじめてのメインフレームー</p> <p>メインフレームシステムの構成要素(ハードウェア/ソフトウェア)、および日立メインフレームのオペレーティングシステムであるVOS3の基本的な機能を学習します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メインフレームシステムの概要を説明できる。 ・メインフレームシステムのデータ管理方式を説明できる。 ・メインフレームシステムでのプログラム開発手順を説明できる。 ・メインフレームシステムでのジョブの実行手順を説明できる。 ・メインフレームシステムの運用管理機能を説明できる。 <p>対象者はじめてVOS3を学習する方で、今後アプリケーション開発や運用・管理をする方。</p> <p>前提知識特に必要としません。</p> <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. メインフレームシステムの概要 2. メインフレームシステムのデータ管理方式 3. メインフレームシステムでのプログラム開発手順 4. メインフレームシステムでのジョブの実行手順 5. メインフレームシステムの運用管理機能 6. 修了試験 <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。 ・説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です) ・このコースは、集合研修「VOS3基礎1ーはじめてのメインフレームー」コース(VSJ016)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込みられないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 	<p>VSV015 VOS3</p> <p> レクチャ 2日間</p> <p>VOS3基礎2-JCLー【バーチャル・クラスルーム】</p> <p>VOS3システムでジョブの実行に必要な基本的なJCL(ジョブ制御文)や、システムメッセージリストの見方を学習します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JCL(ジョブ制御文)の役割を説明できる。 ・JOB文、EXEC文、DD文を使用してジョブ制御文を作成できる。 ・システムメッセージリストからジョブ実行に関する情報を読み取ることができる。 <p>対象者VOS3システムでJCL(ジョブ制御文)を使用したアプリケーション開発や運用を行う方、ジョブ制御文を基礎から学習したい方。</p> <p>前提知識「VOS3基礎1ーはじめてのメインフレームー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. JCL(ジョブ制御文)の役割 2. ジョブの実行過程 3. ジョブ制御文 <ol style="list-style-type: none"> (1)JOB文 (2)EXEC文 (3)DD文 4. システムメッセージリストの見方 <p>備考このコースは、旧「VOS3使用法」コース(集合研修)と同等の内容です。すでにご受講済みの方は、申し込みられないようご注意ください。</p>

VSJ018 VOS3



レクチャ
2日間

VOS3ジョブ管理解説

休講

VOS3のシステム管理をするために必要となるJSS3の機能と設定方法を学習します。

- 到達目標**
- JSS3の機能を説明できる。
 - JSS3の起動の流れや仕組みを説明できる。
 - ジョブ入出力に関するパラメタを説明できる。
 - ジョブの実行スケジュールに関するパラメタを説明できる。

対象者 VOS3システムの運用管理に携わる方。

前提知識 「VOS3基礎2-JCL」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

- 内 容**
1. JSS3の概要
 2. JSS3の起動と初期設定
 - (1) JSS3起動用カタログドロジヤ
 - (2) JSS3初期設定パラメタ
 3. ジョブの実行管理
 - (1) ジョブの流れ
 - (2) ジョブの入力
 - (3) ジョブの実行スケジュール
 - (4) ジョブの実行制御
 - (5) ジョブ結果の出力
 - (6) スプールとジョブキューの管理

備 考 ※このコースは、休講とさせていただきます。

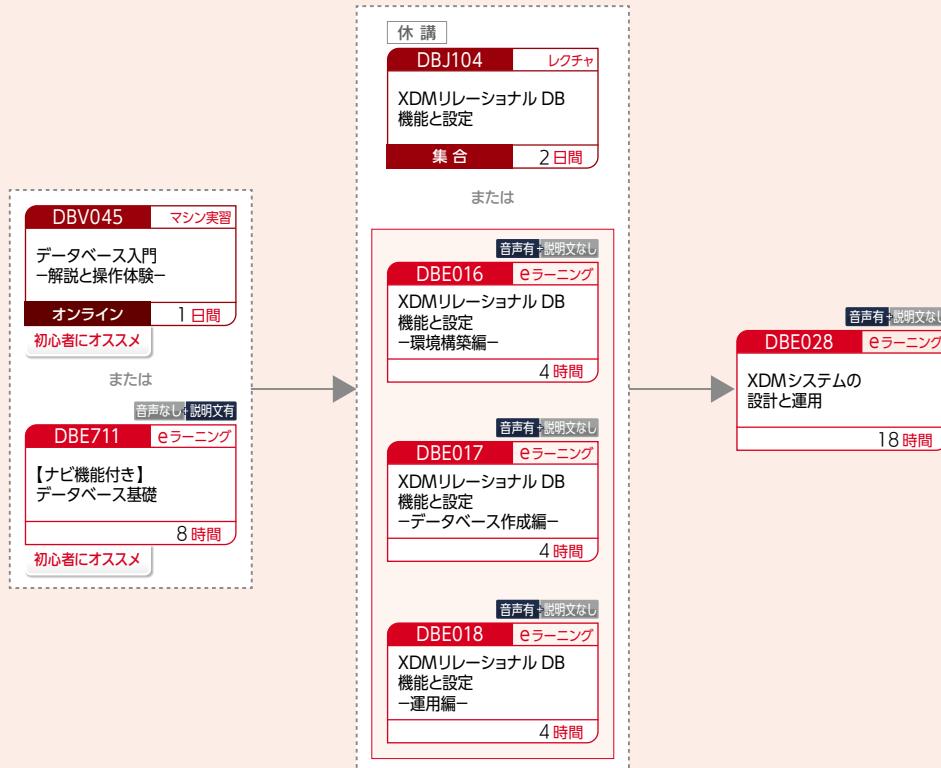
XDM

日立メインフレーム DB/DC である XDM の機能や設定、システム運用管理技術が修得できます。

● XDMを使用してリレーショナルデータベースを構築・運用・設計する方

OSに関する技術

VOS3



初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

初心者にオススメ

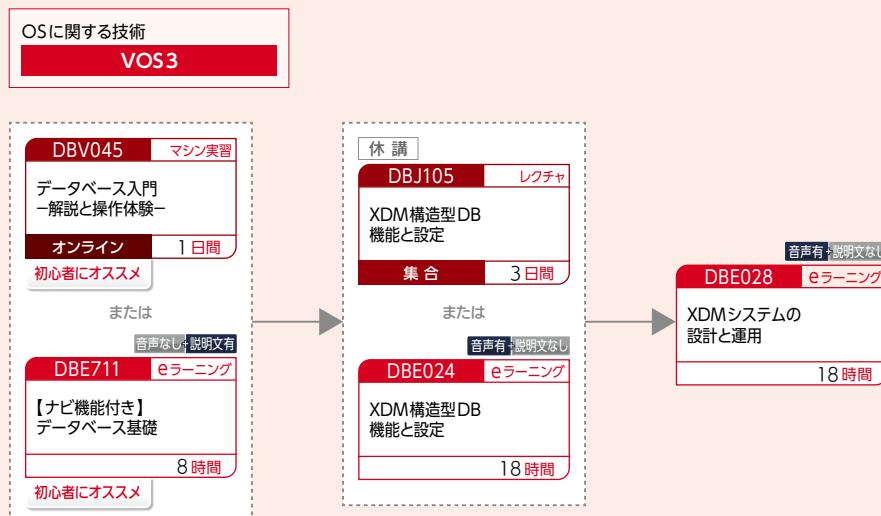
: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

音声有・説明文有 : 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)

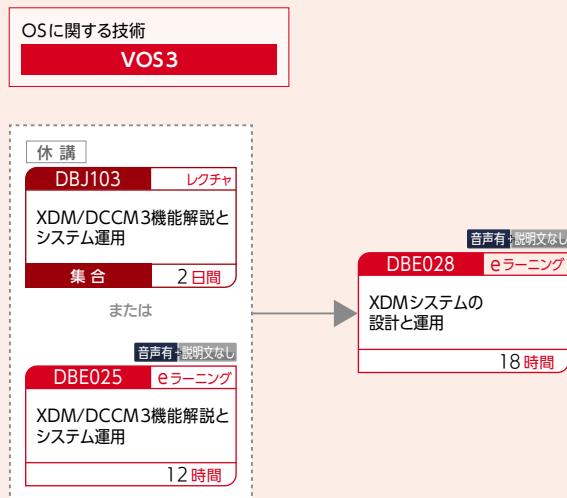
音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)

音声なし・説明文有 : 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

● XDMを使用して構造型データベースを構築・運用・設計する方



● XDM/DCCM3オンラインシステムを構築・運用・設計する方



音声有・説明文有 : 説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）

音声なし・説明文有 : 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

DBE016 XDM

 eラーニング
4時間

**<eラーニング>
XDMリレーショナルDB機能と設定
一環境構築編ー**

XDMリレーショナルデータベース(XDM/RD)システムを構築する際に必要なデータベースの構造と、XDM/RD空間を起動するのに必要な定義方法を学習します。

到達目標

- 論理構造と物理構造を理解し説明できる。
- RD初期設定ユティリティで設定するオペランドを理解し説明できる。

対象者 XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。

前提知識 「データベース入門－解説と操作体験－」コース、または【ナビ機能付き】データベース基礎)eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. XDMシステムの概要
2. データベースの論理構造と物理構造
 - (1)データベースの論理構造
 - (2)データベースの物理構造
3. XDM/RDシステムの作成
 - (1)XDM/RDシステムの作成手順
 - (2)XDM/RDシステムの作成の準備
 - (3)XDM/RDシステムの環境設定
4. 修了試験

備考

- 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
- このコースは、「XDMリレーショナルDB機能と設定」コース(集合研修)の一部分をeラーニング化したもので、集合研修をご受講済みの方は、申し込みれないようご注意ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE017 XDM

 eラーニング
4時間

**<eラーニング>
XDMリレーショナルDB機能と設定
一データベース作成編ー**

XDMリレーショナルデータベースシステム(XDM/RD)を構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法を学習します。

到達目標

- 論理構造と物理構造を理解し説明できる。
- 表およびインデックスを定義に必要なオペランドを理解し説明できる。

対象者 XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。

前提知識 「データベース入門－解説と操作体験－」コース、または【ナビ機能付き】データベース基礎)eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. XDMシステムの概要
2. データベースの論理構造と物理構造
 - (1)データベースの論理構造
 - (2)データベースの物理構造
3. データベースの作成
 - (1)表の定義
 - (2)インデックスの定義
 - (3)データの初期ロードとインデックスの作成
 - (4)ビュー表の定義
4. 修了試験

備考

- 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
- このコースは、「XDMリレーショナルDB機能と設定」コース(集合研修)の一部分をeラーニング化したもので、集合研修をご受講済みの方は、申し込みれないようご注意ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE018 XDM

 eラーニング
4時間

**<eラーニング>
XDMリレーショナルDB機能と設定
一運用編ー**

XDMリレーショナルデータベース(XDM/RD)システムを構築する際に必要なデータベースの構造と、XDM/RD空間を起動するのに必要な定義方法を学習します。

到達目標

- 機密保護、排他制御を理解し説明できる。
- バッチUAP用ユーザ空間の起動制御文に必要なオペランドを理解し説明できる。

対象者 XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。

前提知識 「データベース入門－解説と操作体験－」コース、または【ナビ機能付き】データベース基礎)eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. XDMシステムの概要
2. データベースの定義と作成
 - (1)データベースの論理構造
 - (2)データベースの物理構造
3. データベースの管理と保守
 - (1)データディクショナリ
 - (2)機密保護
 - (3)排他制御
4. データベースの運用
 - (1)XDM/RDシステムの起動と停止
 - (2)データベースの再編成
5. 修了試験

備考

- 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
- このコースは、「XDMリレーショナルDB機能と設定」コース(集合研修)の一部分をeラーニング化したもので、集合研修をご受講済みの方は、申し込みれないようご注意ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ104 XDM

 休講
2時間

 レクチャ
XDMリレーショナルDB機能と設定

XDMリレーショナルデータベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、データベースの管理や維持の方法を学習します。

到達目標

- 論理構造と物理構造を理解し、説明できる。
- 表およびインデックスを定義できる。
- 機密保護、排他制御を理解し、説明できる。
- バッチUAP用ユーザ空間を起動できる。

対象者 XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。

前提知識 「データベース入門－解説と操作体験－」コース、または【ナビ機能付き】データベース基礎)eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. XDMシステムの概要
2. データベースの定義と作成
 - (1)データベースの論理構造
 - (2)データベースの物理構造
 - (3)XDM/RDシステムの作成
3. データベースの管理と保守
 - (1)データディクショナリ
 - (2)機密保護
 - (3)排他制御
4. データベースの運用
 - (1)XDM/RDシステムの起動と停止
 - (2)データベースの再編成

備考

※このコースは、休講とさせていただきます。

DBE024 XDM

 eラーニング
18時間

**<eラーニング>
XDM構造型DB機能と設定**

XDM構造型データベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、データベースの管理や維持の方法を学習します。

到達目標

- スキーマ、格納スキーマの適切な構造を定義できる。
- データベース実行環境の適切なオプションを選択できる。
- データベースの構造変更等の保守ができる。

対象者 XDM構造型データベースシステムを構築・運用する方。

前提知識 「データベース入門－解説と操作体験－」コース、または【ナビ機能付き】データベース基礎)eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. XDMシステムの概要
2. データベースの論理構造とデータ操作
3. データベースの格納構造と定義
4. データベースの物理構造と定義
5. プログラムからのデータベース利用
 - (1)仮想構造
 - (2)データベースの操作機能
6. データベースの作成と保守
7. データベースの管理
 - (1)排他制御
 - (2)コミット(同期点)処理
 - (3)データベースの障害回復

備考

- 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ105 XDM

 休講
3時間

 レクチャ
XDM構造型DB機能と設定

XDM構造型データベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、データベースの管理や維持の方法を学習します。

到達目標

- スキーマ、格納スキーマの適切な構造を定義できる。
- データベース実行環境の適切なオプションを選択できる。
- データベースの構造変更等の保守ができる。

対象者 XDM構造型データベースシステムを構築・運用する方。

前提知識 「データベース入門－解説と操作体験－」コース、または【ナビ機能付き】データベース基礎)eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. XDMシステムの概要
2. データベースの論理構造とデータ操作
3. データベースの格納構造と定義
4. データベースの物理構造と定義
5. プログラムからのデータベース利用
 - (1)仮想構造
 - (2)データベースの操作機能
6. データベースの作成と保守
7. データベースの管理
 - (1)排他制御
 - (2)コミット(同期点)処理
 - (3)データベースの障害回復

備考

※このコースは、休講とさせていただきます。

DBE025	XDM
 e-Learning 12時間	<e-Learning> XDM/DCCM3機能解説とシステム運用
XDMによるオンラインシステムを構築、運用するにあたり必要なXDM/DCCM3のメッセージ制御機能とオンラインシステム運用のための機能を説明します。	
<p>到達目標 • メッセージ制御についてさまざまなオプションを選択し、機能設定できる。 • トランザクション定義ができる。</p> <p>対象者 XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムを構築・運用する方。</p> <p>前提知識 データベースおよびネットワークの基礎知識があること。</p> <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. XDMシステムの概要 2. メッセージ制御 <ol style="list-style-type: none"> (1) メッセージ受信/送信処理 (2) UAPのローディング方式 (3) メッセージ編集など 3. オンラインの運用 <ol style="list-style-type: none"> (1) XDMシステムの開始と終了 (2) センタ運用 (3) 端末運用 4. XDM/DCCM3システム定義例 <p>備考 • 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。 • 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのe-Learningです。(音声再生環境が必須です) • このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 • お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</p>	

DBJ103	XDM
 レクチャ 2日間	XDM/DCCM3機能解説と システム運用
XDMによるオンラインシステムを構築、運用するにあたり必要なXDM/DCCM3のメッセージ制御機能とオンラインシステム運用のための機能を説明します。	
<p>到達目標 • メッセージ制御についてさまざまなオプションを選択し、機能設定できる。 • トランザクション定義ができる。</p> <p>対象者 XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムを構築・運用する方。</p> <p>前提知識 データベースおよびネットワークの基礎知識があること。</p> <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. XDMシステムの概要 2. メッセージ制御 <ol style="list-style-type: none"> (1) メッセージ受信/送信処理 (2) UAPのローディング方式 (3) メッセージ編集など 3. オンラインの運用 <ol style="list-style-type: none"> (1) XDMシステムの開始と終了 (2) センタ運用 (3) 端末運用 4. XDM/DCCM3システム定義例 <p>備考 ※このコースは、休講とさせていただきます。</p>	

DBE028	XDM
 e-Learning 18時間	<e-Learning> XDMシステムの設計と運用
XDMによるオンラインシステムを構築、運用する際に必要な効果的なシステムの定義方法や運用の手順、およびそれらの作業方法を学習します。	
<p>到達目標 • XDM空間を起動できる。 • オンラインのさまざまなオプションを選択し性能改善できる。 • センタ運用のさまざまなオプションを選択し省力化が図れる。</p> <p>対象者 XDMシステムの管理者としてシステムの定義作成や運用をする方。</p> <p>前提知識 「XDM構造型DB機能と設定」コース、または「XDMリレーショナルDB機能と設定」e-Learningコース(3コースすべて)と、「XDM/DCCM3機能解説とシステム運用」コースを修了し、かつVOS3の各種用語や機能についての知識があること。</p> <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 概要 2. XDMシステムの構築と運用 <ol style="list-style-type: none"> (1) XDM運用のポイント (2) XDMシステムの管理を支援するツール <ol style="list-style-type: none"> (1) XDM/AOFE2 (2) XDM/PAF 3. XDMの設計指針 <ol style="list-style-type: none"> (1) 性能設計 (2) 信頼性設計 (3) DB設計 (4) DC設計 4. XDMの設計指針 <p>備考 • 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。 • 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのe-Learningです。(音声再生環境が必須です) • このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 • お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</p>	

日立ストレージ

日立プロダクストレージに関する製品・機能について必要な知識やスキルを修得できます。

● ストレージの基礎および周辺知識を知りたい方

【ストレージ】

音声有り: 説明文なし
CLE703 eラーニング
【ナビ機能付き】 ストレージ関連者向け サーバ仮想化技術概説
3 時間

SLV076 レクチャ
日立ストレージ製品概要 -ストレージ基礎・ 製品紹介編-
オンライン 1 日間

音声なし: 説明文有り
SJE708 eラーニング
【ナビ機能付き】 ストレージシステム基礎
8 時間

【周辺知識】

音声有り: 説明文なし
SJE705 eラーニング
【ナビ機能付き】 SAN概説
5 時間

音声有り: 説明文なし
SJE016 eラーニング
Fibre Channel概説 -日立ストレージ・ホストの 接続を理解するために-
4 時間

音声有り: 説明文なし
SJE017 eラーニング
SATA入門
2 時間

音声有り: 説明文なし
SJE028 eラーニング
SCSI入門 -ストレージインターフェースを 理解するために-
2 時間

音声有り: 説明文なし
SJE018 eラーニング
SAS (Serial Attached SCSI) 入門-ストレージインターフェース を理解するために-
2 時間

● 日立ストレージのハードウェア製品特長・構成を知りたい方

SLV076 レクチャ
日立ストレージ製品概要 -ストレージ基礎・ 製品紹介編-
オンライン 1 日間

SLV077 レクチャ
日立ストレージハードウェア -ミッドレンジストレージ編-
オンライン 1 日間

※ SLV077は、製品シミュレータを使用したストレージ設定操作が体験できます。

音声有り: 説明文有り : 説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）

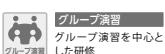
音声有り: 説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）

音声なし: 説明文有り : 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。



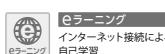
マシン実習
マシンを使用しながらの
研修



グループ演習
グループ演習を中心とした研修



レクチャ
座学による研修
レクチャ



eラーニング
インターネット接続による
自己学習

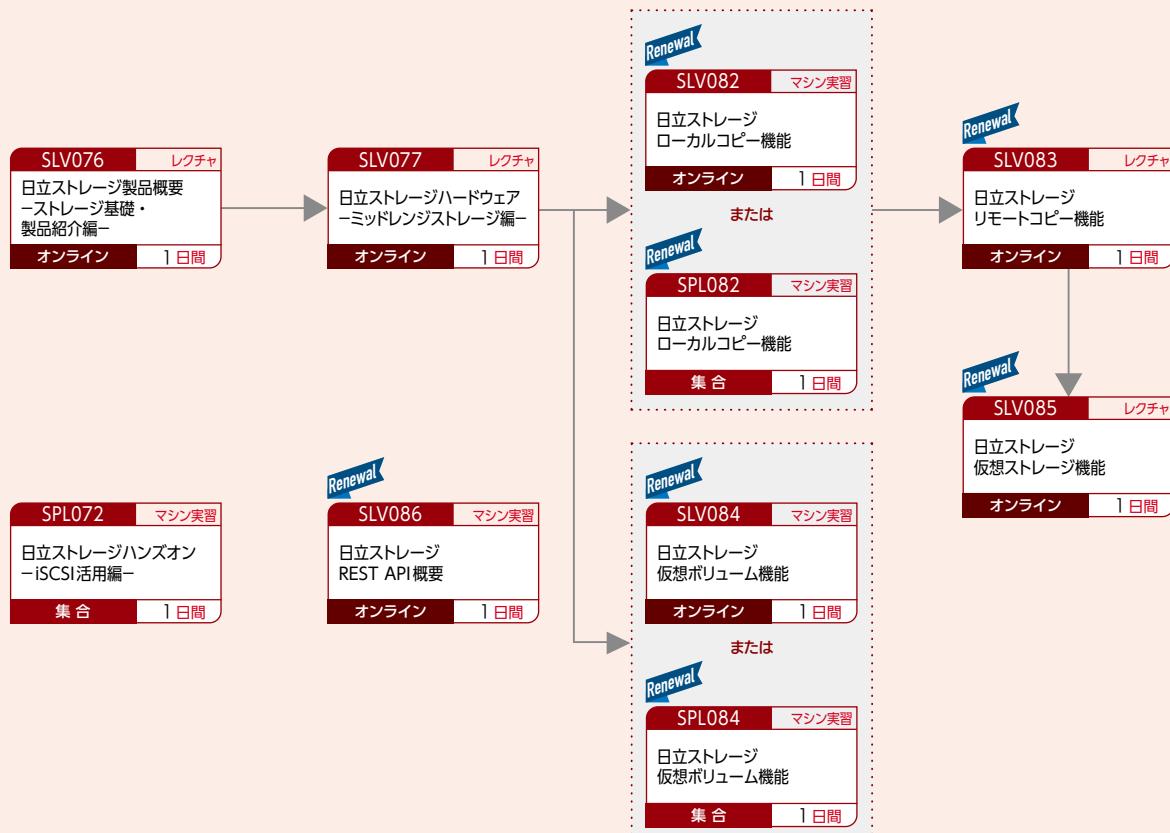


その他



休講
今期の定期開催は
ありません

● 日立ストレージの各機能を使用したシステムの構築・運用技術を知りたい方



音声有・説明文有 : 説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）

音声なし・説明文有 : 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

SJE708 日立ストレージ

 eラーニング
8時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】ストレージシステム基礎

ストレージ(ディスク、テープ)に関する基本事項を学習します。

到達目標 ストレージに関する基本的な用語を理解でき、業務に活用できる。

対象者 ストレージに関する業務をこれから始める方。

前提知識 特に必要としません。

内容

- ディスクシステムとは
 - ディスクシステムの位置付け
- ディスクシステム基礎技術
 - RAID技術
 - ストレージインターフェース(オープンシステム・メインフレーム)
 - ネットワークを使用したストレージ
 - サーバ関連事項
- テープバックアップ
 - バックアップの必要性、テープバックアップを実現する要素
 - テープ関連基礎知識
- 修了試験

備考

- 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。
- 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SLV076 日立ストレージ

 レクチャ
1日間

日立ストレージ製品概要－ストレージ基礎・製品紹介編－【バーチャル・クラスルーム】

Hitachi Storage Solutions製品の基礎知識、提案および見積りの手順について学習します。

到達目標

- Hitachi Storage Solutionsの基礎知識、提案、見積りに必要な事項を修得し、カタログを用いてHitachi Storage Solutionsの製品説明ができる。
- 顧客のニーズを把握できるようになる。

対象者 顧客に対しHitachi Storage Solutionsに関する最適なシステムの提案技術の修得をめざす営業・SEの方。

前提知識 特に必要としません。

内容

- ストレージと基礎知識
- ストレージ製品ラインアップと特徴
- 日立ストレージソフトウェアおよびソリューション
- 日立ストレージ管理ソフトウェア
- 日立ストレージ提案・見積り

SLV077 日立ストレージ

 レクチャ
1日間

日立ストレージハードウェア－ミッドレンジストレージ編－【バーチャル・クラスルーム】

ハードウェアについては、製品ラインアップとオプション構成などハードウェアシステム構成ができる知識、ソフトウェア関連では、基本ソフトウェアの操作・設定ができる知識について学習します。なお、GUI操作も体験していただけます。

到達目標

- ハードウェアシステム構成ができる知識を修得できる。
- オープン系ソフトウェアの操作・設定ができる。

対象者 日立ミッドレンジストレージについて基本的な技術の修得をめざす方。

前提知識 「日立ストレージ製品概要－ストレージ基礎・製品紹介編－」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- 日立ストレージ概要
- ハードウェア
 - 全体構成
 - ハードウェアコンポーネント
- 内部動作
 - Read・Write時の内部動作
- 基本ソフトウェア(オープンシステム)
 - LUN Manager(機能・操作)
 - Performance Monitorなど
 - Hitachi Dynamic Provisioning
- Hitachi Command Suiteストレージ設定

SPL082 日立ストレージ

 マシン実習
1日間



日立ストレージ ローカルコピー機能

ShadowImage、Thin Imageの基本機能、RAID Managerおよびペア操作(RAID Manager)について学習します。なお、集合クラスは実機を使用して実習を行います。バーチャルクラスは、シミュレータを使用して実習を行います。

到達目標

- ShadowImageの知識を修得し、操作・設定ができる。
- Thin Imageの知識を修得し、操作・設定ができる。

対象者 日立ストレージのボリュームコピー系機能 ShadowImage、Thin Imageの技術の修得をめざす方。

前提知識 「日立ストレージハードウェア－ミッドレンジストレージ編－」を修了しているか、または同等以上の知識があること。

内容

- ShadowImage
 - 基本機能、ペア操作と状態遷移
- Thin Image
 - 基本機能、ペア操作と状態遷移 ペア操作
- RAID Manager概要
- ShadowImage、Thin Image操作

SLV082 日立ストレージ

 マシン実習
1日間



日立ストレージ ローカルコピー機能【バーチャル・クラスルーム】

ShadowImage、Thin Imageの基本機能、RAID Managerおよびペア操作(RAID Manager)について学習します。なお、集合クラスは実機を使用して実習を行います。バーチャルクラスは、シミュレータを使用して実習を行います。

到達目標

- ShadowImageの知識を修得し、操作・設定ができる。
- Thin Imageの知識を修得し、操作・設定ができる。

対象者 日立ストレージのボリュームコピー系機能 ShadowImage、Thin Imageの技術の修得をめざす方。

前提知識 「日立ストレージハードウェア－ミッドレンジストレージ編－」を修了しているか、または同等以上の知識があること。

内容

- ShadowImage
 - 基本機能、ペア操作と状態遷移
- Thin Image
 - 基本機能、ペア操作と状態遷移 ペア操作
- RAID Manager概要
- ShadowImage、Thin Image操作

SLV083 日立ストレージ

 マシン実習
1日間



日立ストレージ リモートコピー機能【バーチャル・クラスルーム】

日立ストレージリモートコピー機能(TrueCopy、Universal Replicator)の基本機能、システム構成、ペア操作について学習します。

到達目標

- TrueCopyの知識を修得し、操作・設定ができる。
- Universal Replicatorの知識を修得し、操作・設定ができる。

対象者 日立ストレージのリモートコピー機能TrueCopy、Universal Replicatorの技術の修得をめざす方。

前提知識 「日立ストレージ ローカルコピー機能」を修了しているか、または同等以上の知識があること。

内容

- TrueCopy
 - 基本機能 状態遷移 システム構成(RAID Manager含む) ペア操作
- Universal Replicator
 - 基本機能 状態遷移 システム構成(RAID Manager含む) ペア操作
 - 発展的なリモートコピー構成

SLV084 日立ストレージ

 **1日間**

**日立ストレージ
仮想ボリューム機能
【バーチャル・クラスルーム】**

Renewal

日立ストレージの仮想化機能Universal Volume Manager、Dynamic Provisioning、Dynamic Tieringの基本機能、システム構成、設定について学習します。なお、集合クラスは実機を使用して実習を行います。バーチャルクラスは、シミュレータを使用して実習を行います。

到達目標

- Universal Volume Managerの知識を修得し、操作・設定ができる。
- Dynamic Provisioningの知識を修得し、操作・設定ができる。
- Dynamic Tieringの知識を修得し、操作・設定ができる。
- active flashの知識を修得し、操作・設定ができる。

対象者 日立ブロックストレージの仮想化機能Universal Volume Manager、Dynamic Provisioning、Dynamic Tiering、active flashの技術の修得をめざす方。

前提知識 「日立ストレージハードウェアーミッドレンジストレージ編」を修了しているか、または同等以上の知識があること

内容

- Universal Volume Manager(UVM)
 - 基本機能、システム設定・操作
 - データ移行概要
- Dynamic Provisioning(HDP)
 - 基本機能、システム構成
 - 操作(仮想ボリューム、ブルール作成、ホスト接続)
- Dynamic Tiering(HDT)
 - 基本機能、システム構成、操作概要(スケジューリングなど)
- active flash
 - 基本機能、操作概要

SPL084 日立ストレージ

 **1日間**

**日立ストレージ
仮想ボリューム機能**

Renewal

日立ストレージの仮想化機能Universal Volume Manager、Dynamic Provisioning、Dynamic Tieringの基本機能、システム構成、設定について学習します。なお、集合クラスは実機を使用して実習を行います。バーチャルクラスは、シミュレータを使用して実習を行います。

到達目標

- Universal Volume Managerの知識を修得し、操作・設定ができる。
- Dynamic Provisioningの知識を修得し、操作・設定ができる。
- Dynamic Tieringの知識を修得し、操作・設定ができる。
- active flashの知識を修得し、操作・設定ができる。

対象者 日立ブロックストレージの仮想化機能Universal Volume Manager、Dynamic Provisioning、Dynamic Tiering、active flashの技術の修得をめざす方。

前提知識 「日立ストレージハードウェアーミッドレンジストレージ編」を修了しているか、または同等以上の知識があること

内容

- Universal Volume Manager(UVM)
 - 基本機能、システム設定・操作
 - データ移行概要
- Dynamic Provisioning(HDP)
 - 基本機能、システム構成
 - 操作(仮想ボリューム、ブルール作成、ホスト接続)
- Dynamic Tiering(HDT)
 - 基本機能、システム構成、操作概要(スケジューリングなど)
- active flash
 - 基本機能、操作概要

SLV085 日立ストレージ

 **1日間**

**日立ストレージ
仮想ストレージ機能
【バーチャル・クラスルーム】**

Renewal

global virtualizationの概要と、global virtualizationをベースとした機能であるnondisruptive migration、global-active deviceの基本機能、システム構成、操作について学習します。

到達目標

- global virtualizationの概要を修得し、操作・設定ができる。
- nondisruptive migrationやglobal-active deviceの知識を修得し、操作・設定ができる。

対象者 ストレージの仮想化機能global virtualizationの技術の修得をめざす方。

前提知識 「日立ストレージ リモートコピー機能」を修了しているか、または同等以上の知識があること。

内容

- global virtualization
 - 仮想ストレージ解説、仮想ストレージの作成
 - nondisruptive migration
 - 基本機能 システム構成、操作(ボリューム移行)
 - global-active device
 - 基本機能 システム構成、操作

SPL072 日立ストレージ

 **1日間**

**日立ストレージハンズオン
-iSCSI活用編-**

仮想化環境下で、iSCSIストレージを使用するための設定、サーバ、ストレージ間でのiSCSIを使用した接続、また、日立ストレージのリモートコピー機能、外部ストレージ接続機能での筐体間接続にiSCSIを使用する際の接続方法、注意事項など実機を通して学習します。

到達目標

- 仮想化環境下でiSCSIストレージの導入方法を理解できる。
- サーバとストレージ間をiSCSIを使用して接続できる。
- 日立ストレージのリモートコピー機能、外部ストレージ接続機能でiSCSIを活用できる。

対象者 仮想化環境を構築される方。

日立ストレージをiSCSIインターフェースで導入される方。

前提知識

- サーバ仮想化に関する知識があること。
- 日立ストレージに関する知識があること。
- 日立ストレージのリモートコピー、外部ストレージ接続機能の知識があること。

内容

- iSCSI概要
 - iSCSIとは
 - iSCSI導入メリット
 - iSCSI技術要素Target、iSCSI NAME、セキュリティ(CHAP認証)
- サーバ、iSCSIストレージ接続
 - 接続概要
 - チャップ認証設定
 - LUNセキュリティ設定
 - 接続実習
- 仮想化環境でのiSCSIストレージ導入
 - システム構成
 - データストア用ボリュームの作成から認識まで
 - 実習
- 日立ストレージ各種機能でのiSCSI活用
 - 外部ストレージ接続機能(Universal Volume Manager)機能概要、筐体間接続設定、注意事項
 - UVM接続実習
 - リモートコピー機能(TrueCopy/Universal Replicator)機能概要、筐体間接続設定、注意事項
 - リモートコピー接続実習
- iSCSI接続トラブルシューティング

SPL086 日立ストレージ

 **1日間**

**日立ストレージ REST API概要
【バーチャル・クラスルーム】**

Renewal

REST APIの基本的な使用方法から、ストレージの設定、管理方法をマシン実習を通じて学習します。

到達目標

- REST APIの基本的な使用方法が理解できる。
- REST APIを使用してストレージの設定ができる。
- REST APIを使用してストレージの情報を確認できる。

対象者 ストレージの運用・管理を行う方。

前提知識 日立ストレージに関する知識をお持ちのこと。

内容

- REST APIとは
 - REST API概要
 - REST API操作
 - RESTクライアントインストール
 - 認証(ペーシック認証、セッション認証)
 - ストレージ情報確認、設定操作
 - REST API演習
 - ストレージ設定、情報の確認などの演習

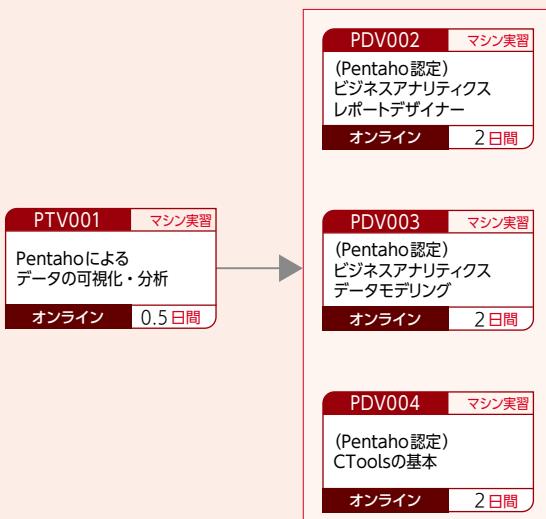
Pentaho

データ統合・分析基盤であるPentahoを使用したデータの統合処理や、分析・可視化に必要な機能や操作等の技術が修得できます。

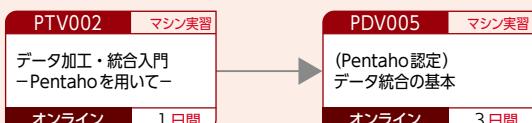
● Pentahoを使ってデータ操作・参照したい方



● PentahoのBI機能を使ったデータ分析をしたい方



● Pentahoを使用してデータ統合をしたい方



音声有・説明文有 : 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
音声なし・説明文有 : 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

<p>PDV001 Pentaho  マシン実習 (Pentaho認定)ビジネスアナリティクス ユーザー・コンソール 【バーチャル・クラスルーム】 1日間</p> <p>Pentaho上の意思決定にビジネスインテリジェンスを利用するユーザーに対して、Pentaho製品の円滑なスタートを提供します。また、このコースはすべてのビジネス・アナリティクスとデータ統合の学習のための出発点となり、より高度なトピックのための前提条件となります。</p> <p>到達目標 インタラクティブレポート、アナライザ、レポートデザイナー、およびダッシュボードデザイナーの主な機能を説明できる。 対象者 ビジネスユーザーの方、ビジネスアナリストをめざす方、データアナリスト・Pentaho管理者・Pentahoサポートを担当する方。 前提知識 特に必要としません。 内容 1. Pentahoビジネスアナリティクス入門 2. インタラクティブレポートによるレポート作成 3. アナライザによるレポート作成 4. ダッシュボードデザイナーによるダッシュボード作成 備考 カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。</p>	<p>PTV001 Pentaho  マシン実習 Pentahoによるデータの可視化・分析 【バーチャル・クラスルーム】 0.5日間</p> <p>Pentahoのアナライザーレポート機能などを用いた、データの可視化および分析について学習します。</p> <p>到達目標 • データ分析の処理方法であるOLAP(Online Analytical Processing)の概要を説明できる。 • Pentahoを用いてデータを可視化、分析できる。 対象者 Pentahoによるデータの可視化、分析について学びたい方。 前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作についての知識があること。 内容 1. Pentahoのデータ可視化、分析機能概要 (1)概要 (2)アナライザーレポート機能 (3)その他のレポート機能 2. アナライザーレポート機能による可視化、分析 (1)OLAP分析の概要 (2)グラフ種別 (3)データ分析操作 3. データ分析演習 (1)仮説の作成 (2)分析と仮説の検証 備考 カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。</p>	<p>PDV002 Pentaho  マシン実習 (Pentaho認定)ビジネスアナリティクス レポートデザイナー 【バーチャル・クラスルーム】 2日間</p> <p>Pentahoレポートデザイナーにより、レポートのデザイン、作成、パブリッシュ方法を修得します。また、データソースへのアクセスからデザイン要素の追加までビジネスレポート作成に必要なすべてのステップを学習できます。</p> <p>到達目標 • レポートデザイナーの主要な特徴を説明できる。 • データソースに接続してクエリー・デザインツールによりレポートのためのクエリーが書ける。 • さまざまなデータを使用して要素をデザインできる。 • レポート要素をフォーマットして、条件フォーマットをレポート要素に適用できる。 • ハイパーリンクとパラメーターをレポートに追加できる。 • レポートデザイナーでチャートとサブレポートを使える。 • レポート内でリソースファイルを使うことができる。 • レポート・ウィザードを使ってレポートを作成できる。 対象者 ビジネスアナリストをめざす方、Pentahoサポートを担当する方。 前提知識 特に必要としません。 内容 1. Pentahoビジネスアナリティクス入門 2. レポートデザイナーによるレポート作成 3. 高度なレポート・トピック 4. レポート・ウィザードによるレポート作成 備考 カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。</p>
<p>PDV003 Pentaho  マシン実習 (Pentaho認定)ビジネスアナリティクス データモデリング 【バーチャル・クラスルーム】 2日間</p> <p>Pentahoメタデータエディタやスキーマワークベンチを使って、インタラクティブレポートやアナライザで使用するデータモデルの作成を行います。</p> <p>到達目標 • データソース・ウィザードを使用してCSVファイルからデータモデルを作成できる。 • Pentahoメタデータエディターを使って、複雑なDBテーブルやレポートデータに対するセキュリティパラメータの設定をするためのビジネス言語定義が行える。 • OLAP、ROLAP、ディメンジョンナル・モデリングを説明できる。 • Mondrianスキーマの機能と目的を説明できる。 • Pentahoアナライザーの基本的なキューブを作成するために、スキーマワークベンチを使える。 • ヒエラルキー・レベル・計算メンバーを含むスタースキーマを作成するために、スキーマワークベンチを使える。 • スキーマワークベンチ内Mondrianスキーマをテストするために基本的なMDXクエリーを書ける。 • Mondrianスキーマへのアクセスを管理するため、どのようにスキーマワークベンチのロールを使うか説明できる。 対象者 ビジネスアナリスト、データアナリストをめざす方、Pentahoサポートを担当する方。 前提知識 特に必要としません。 内容 1. Pentahoビジネスアナリティクス入門 2. Pentahoによるデータソースの働き 3. OLAP/ROLAPとディメンジョンナル・モデリング 4. スキーマワークベンチの使用 備考 カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。</p>	<p>PDV004 Pentaho  マシン実習 (Pentaho認定)CToolsの基本 【バーチャル・クラスルーム】 2日間</p> <p>リッチなユーザー体験を提供するピクセル・パーソナルなダッシュボードの作成方法について学習します。</p> <p>到達目標 • ダッシュボード・デザインのためのトップ・ボトム・アプローチが説明できる。 • DCFのようなダッシュボードフレームワークの目的を説明できる。 • コアのCTools(CDA、CDE、CCC)が使えて、その目的が説明できる。 • CToolsの中で使用されるテクノロジーが説明できる。 • CToolsトレーニング環境が説明できる。 • CDEを使ったダッシュボードのためのレイアウトが作成できる。 • CDEのライフサイクルの背景となる主要コンセプトが説明できる。 • CDEデータソース・スペックティフが説明できる。 • Mondrianデータソースをダッシュボードに追加できる。 • CCCとCCC2が説明できる。 • チャートや表がダッシュボードに追加できる。 • チャート・カスタマイズのための拡張ポイントを見つけるためドキュメントを使える。 • パラメータコンポーネントをダッシュボードに追加できる。 • セクターやウェイティングをダッシュボードに追加できる。 対象者 ビジネスアナリストをめざす方。 前提知識 「(Pentaho認定)ビジネスアナリティクス」コースを修了しているか、同等の知識があること。 内容 1. ダッシュボード・デザイン 2. CToolsのアーキテクチャ 3. CDF/CDE入門 4. CDAによるダッシュボードデータソースの作成 5. ダッシュボードへのコンポーネント追加 6. CCCによるチャートの設定 7. コンポーネント間の相互利用 8. CGGとCDAのエクスポート機能 備考 カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。</p>	<p>PTV002 Pentaho  マシン実習 データ加工・統合入門 —Pentahoを用いて— 【バーチャル・クラスルーム】 1日間</p> <p>データ統合で必要なETL処理について、データ加工の考え方やポイントを学習します。また、PentahoのPDI(Pentaho Data Integration)機能を使用した、ETL処理の定義・実行操作を学習します。</p> <p>到達目標 • データ統合を目的としたETL(Extract/Transform/Load)処理のポイントを説明できる。 • Pentahoを用いてETL処理を定義・実行できる。 対象者 業務でデータ統合を実現する方法を学びたい方。 • Pentahoを使用したシステムの提案、導入を担当する営業、SEの方。 前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作についての知識があること。 内容 1. ETL概要 (1)ETLとは (2)ETLにおけるデータ加工のポイント 2. Pentaho概要 (1)Pentahoの概要と構成 (2)PDIの用語・概念 3. データの名寄せ (1)名寄せとは (2)名寄せのポイント (3)PDIでの設定・実行例 (4)演習 4. データのクレンジング (1)クレンジングとは (2)クレンジングのポイント (3)PDIでの設定・実行例 (4)演習 備考 カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。</p>

PDV005 Pentaho



(Pentaho認定) データ統合の基本 [バーチャル・クラスルーム]

Pentahoデータ統合を活用し、生産性を向上させるスキルを修得できます。また、Pentahoのデータ統合機能を使用して、さまざまなアプリケーションにデータを配信する方法を学習できます。

- 到達目標**
- ・ステップやホップを含む基本的なデータ変換の作成、プレビュー、実行ができる。
 - ・データ変換の結果をメトリクスピューやログビューで確認できる。
 - ・基本的なセキュリティを含むPentahoエンタープライズレポジトリを設定できる。
 - ・Pentahoエンタープライズレポジトリを使用できる。
 - ・データ変換ステップのためのエラーハンドリングができる。
 - ・データベース接続を作成してデータベース探索が行える。
 - ・データ変換の作成が行える。
 - ・ストリーム上での複雑な計算を行うデータ変換の作成できる。
 - ・パラメータや環境変数を使った繰り返しのデータ変換を作成できる。
 - ・データ補正データクレンジングにPentahoデータ統合を使用できる。
 - ・異なるデータソースへデータをロードできる。
 - ・ジョブを作成できる。
 - ・データ変換やジョブのためのログを設定し、結果を検証できる。
 - ・Pentahoデータ統合、Pentahoエンタープライズコンソールから、スケジュールしてモニタリングできる。

対象者 データアナリストをめざす方。

前提知識 特に必要としません。

- 内容**
1. 基本的なデータ変換の作成、プレビュー、実行
 2. メトリクスピューやログビュー
 3. Pentahoエンタープライズレポジトリ
 4. エラーハンドリング
 5. データベース接続
 6. 各種データ変換
 7. データ統合
 8. ジョブの作成

備考 カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。



各種研修サービスに関するお問い合わせ

地 区	T E L	F A X
東 京	03-5471-8962	03-5471-2564
大 阪	06-4797-7360	06-4797-7361
名 古 屋	052-269-8940	052-261-8276
広 島	082-546-6172	082-546-6173
福 岡	092-844-7522	092-844-7580

日立講習会お問い合わせ窓口 ▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/inquiry/index.html>